

専修学校留学生就職アシスト事業

関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業  
実施報告書

平成26年度 文部科学省委託事業



一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

平成 26 年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業  
実施報告書

## 目次

はじめに.....	3
第 1 章：委託事業の概要.....	5
1. 委託事業名.....	5
2. 委託事業実施期間.....	5
3. 委託事業の目的.....	5
4. 専修学校各種学校、地元産業界等との連携体制.....	5
5. 委託事業の概要.....	6
6. 委託事業の成果.....	8
7. 今後への提言.....	9
(1) 次年度以降における課題.....	9
(2) 今後への 5 つの提言.....	9
第 2 章：事業別成果報告.....	10
1：WEB サイトを活用した国内・国外への留学情報、職業教育、 教育コンテンツの発信.....	10
1 - A. WEB 上での留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信.....	10
2：専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備.....	14
2 - A. 現地教育機関との交流会の実施.....	14
2 - B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと 視察受入.....	48
3：国内日本語学校への専修学校留学生の職業教育の理解促進.....	58
3 - A. 日本語学校への専修学校留学生職業教育の理解促進のための連携授業.....	58
4：留学生採用意欲を持つ中小企業と専修学校との連携事業.....	71
4 - A. 留学生採用企業交流会の実施.....	71
4 - B. 専修学校職業教育普及のための外国人留学生採用ガイドブックの作成.....	82
第 3 章：「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」のまとめ.....	84
1. 委託事業の成果.....	84

2. 次年度以降における課題.....	85
第4章：提言2015.....	86
1. 趣旨.....	86
2. 5つの提言.....	86
第5章：成果の普及.....	89
1. 事業の周知実績.....	89
2. 報告書配布先.....	89
3. 広報予定.....	89
事業実施体制.....	90

## はじめに

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（以下「大専各」と記す）は専修学校及び各種学校教育に関する調査研究、その資質向上、職業教育の振興に寄与することを使命としています。その大きな役割のひとつとして、専門学校に在籍する外国人留学生（以下「留学生」と記す）が高度人材または中核的専門人材として活躍できる環境を構築する事業に取り組んでいます。近年日本企業のASEAN 諸国への進出が加速するにつれ、企業側の外国人留学生に対する人材ニーズも年々高まってきております。

このような環境の中、文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」を受託出来たことにより、WEB 上での留学情報・職業教育の発信、現地教育機関の日本留学・専門学校理解促進、留学生採用交流会開催や留学生採用ガイドブックの作成等の有意義な事業が進められました。また大専各では大阪府国際化戦略アクションプログラム事業にも参加することにより、日本語学校・専門学校・大学・行政・商工会議所等オール大阪体制が構築され、大阪に来る留学生の学習と生活の質を高め、大阪が留学生にとって優しく快適な評価を得られるよう努力をしているところです。

昨今はベトナムを中心としたASEAN 諸国から日本国内での就職志向の強い留学生が増えてきています。大専各としましては、現地の高校・大学への訪問や日本語学校を通じて正確な職業教育機関・職業教育内容等の発信、留学生採用企業へのインターシップの促進や就職交流会の実施等留学生に対する職業教育理解の充実に努めているところです。

この6年間文部科学省の予算を活用させていただき、留学生支援のインフラを整えてこられましたことに感謝申し上げます。今後も時代の大きな変化を受け止め、益々増加するであろう留学生に日本のファン、また大阪のファンになっていただく支援事業を続けてまいりますので、文部科学省の引き続きのご指導・ご鞭撻お願い申し上げます。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

理事長 福田 益和

日本企業の海外進出に拍車がかかりました。消費人口が減少する国内だけで事業展開することに限界を感じ出したのではないのでしょうか。大企業はもちろんのこと中小企業の海外進出も目立ち始めました。そのため、グローバル人材育成の必要性が一層高まっています。大専各では、ここ6年間文部科学省のご支援を受けて、関西企業の人材のグローバル化に貢献してまいりました。これまで中国の留学生の増加が顕著でしたが、昨年あたりからベトナム、ネパールの留学生が急激に増加し、新たな課題として日本語力の強化策が浮かび上がってきました。

これらの課題解決を視野に入れながら彼らの進路を考えますと、2011年より進めてきた就職時に必要とする「留学生基礎力」教材を国内の日本語学校だけではなく世界の日本語学校に活用していただくために一昨年よりホームページ上に「留学生基礎力」をダウンロードできる体制を整えることにいたしました。これによって日本で就職したいと考えている留学生に貴重な情報を提供する事になります。

このような体制を整える一方で、在日する外国人留学生が日本の企業を正しく理解することを促進するため、グローバルインターンシップ事業を2011年にスタートしました。この事業により就職が促進され成果も上がりだしています。本年度はさらに全国の企業との橋渡しが一層進めるために、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団と連携して実施いたしました。インターンシップによって外国人留学生の日本企業理解が進み、ミスマッチが減ることも事実です。そのため今後もグローバルインターンシップの試みが一層強化されていくようサポートしてまいります。

しかしながら専門学校の教育分野により専門士として就職できる分野は未だに制限されています。そのため早期の在留資格の緩和は重要です。全国レベルの課題として、文部科学省、全校専修学校各種学校総連合会、職業教育・キャリア教育財団が協力して課題を解決し、日本企業のグローバル人材育成に役立ちたいと考えております。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会  
留学生委員会 委員長 長谷川 恵一

## 関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業

### 第 1 章：委託事業の概要

#### 1. 委託事業名

関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業

#### 2. 委託事業実施期間

平成 26 年 7 月 18 日から平成 27 年 3 月 13 日まで

#### 3. 委託事業の目的

大専各は、過去 5 年間にわたり「関西型留学生就職支援基盤の構築事業」、「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」を推進した。同事業の成果として専修学校留学生の受入の整備、専修学校留学生のための職業教育モデルの構築、産・官・学の連携による専修学校留学生の採用促進のための連携の強化を図り、結果として関西地域に専修学校留学生採用の強いネットワーク形成を実現し、留学生の受け入れから就職までのワンストップサービスの定着を推進してきた。今年度は、このネットワークの活用を前提に、中小企業の海外進出に伴う外国人材確保の要請の職業教育を担う専修学校の役割としてとらえ、この人材の育成と提供をワンストップサービスとして定着させるための事業を継続して推進する。特に近年の ASEAN 諸国を中心とした多国籍な留学生の受け入れの拡大に伴い、顕在化してきている各段階の課題の解決に取り組む。またこれまでの継続した成果として今年度に達成した成果を報告書に取りまとめるとともに、ホームページで広く周知する。

#### 4. 専修学校各種学校、地元産業界等との連携体制

本事業は、大専各が核となって関西地区の専門学校、日本語学校に呼びかけ、留学生採用に興味をもっている企業や、大阪商工会議所などの経済団体の協力を得て、関西に専修学校留学生の日本就職を社会システムとして定着させることを目的として、多言語サイトの構築と海外への留学情報発信の事業、海外とのネットワーク構築及び拠点整備の推進の事業、専門学校留学生の職業教育モデルの構築事業、留学生採用意欲を持つ中小企業と専門学校との連携事業を実施した。

大専各の中では、留学生委員会のメンバーが幹事校を務め、ワーキンググループを構成し、事務局と共に運営・企画を担った。事業は、大専各の会員校を中心に関西の専門学校にも参加を呼びかけた。

企業の留学生採用のニーズの反映と受入れ促進を目的として、大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪労働協会の協力を得て、企業採用交流会などを通して留学生採用の機運を盛り上げた。

また海外とのネットワーク構築及び拠点整備検討を通して、ベトナムの学校とのネットワーク構築、モデル事業が実施され、海外の教育機関への職業教育での連携のモデルを作った。

さらに、WEB 上でのワンストップサービスを目指した国内外向けの留学・就職支援サイトを今年度はコンテンツの充実を目的として実施し、広く国内外の期間が活用していただけるように工夫を行った。

## 5. 委託事業の概要

### (1) WEB サイトを活用した国内・海外への留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信

#### 1-A. WEB 上での留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信

昨年度開発したサイト全体の再構築を行い、早期にサーバ運営を開始する。

日本留学に係わる各種の情報、留学生基礎力教材、世界が注目する日本の文化コンテンツの人材育成を担っている豊富で多様な専門学校職業教育の内容などの既存コンテンツ整理と、非漢字圏の留学生も考慮したビジネス日本語の教育コンテンツなどの E-learning 化などの新規開発を行い、コンテンツの充実を図り、サイトの活性化を推進する。

サイトの充実と活性化で「関西」と「専門学校職業教育」の普及に努める。

また、同サイトにおいて本事業の告知・周知等を一層高め、国内外への情報発信に努める。

#### <サイト利用状況>

対象期間：2015年2月22日現在（2014年9月から）

訪問数 3,762

ユーザー数 2,624

ページビュー数 9,217

#### <作成コンテンツ等>

E-learning コンテンツ作成

ビジネス日本語トレーニングテスト 敬語編、挨拶編、ビジネスマナー編、

就職支援チェックテスト 面接編

サンプル例参照

交流広場（SNS）構築

### (2) 専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備

現在、日本語学校には多くのASEAN諸国からの留学生が在籍しているが、円滑に専修学校へ進学できる状況にない。なぜなら、多くの課題を未解決のままに進んでいるからである。昨年調査の結果から、大きくは、①現地教育機関の日本留学の情報不足②留学斡旋会社などによる無秩序な送り出し③非漢字圏、多国籍留学生の日本生活の不適応・日本語習得の未達成、などである。日本企業は、海外進出、特に近年ではASEAN諸国への進出により多国籍な人材を求めており、このニーズに応えるためにもこれらの課題を早期に解決することが重要である。そのためには、日本の専門学校における職業教育の内容、進学の条件、日本就職の条件などの重要な留学情報を現地の教育機関に周知し、理解を得る必要がある。秩序のある留学の受入が推進されるよう、下記事業の実施を計画した。

#### 2-A. 現地教育機関との交流会の実施

現在ASEAN諸国にて留学生の送り出しの中心となっているベトナムにおいて、大学・短期大学・高校・日本語学校との直接のネットワークを形成するため現地での交流事業を実施した。具体的にはハノイ、ホーチミンで「日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー」を開催した。大専各より会員校の5法人9専門学校が参加した。また現地側では、ハノイでは大学・短大・日本語学校等の19校が参加した。またホーチミンでは大学・短大・日本語学校等の14校が参加した。同セミナーにおいて日本の専門学校教育

の基本である職業教育への理解を促し、同時に日本留学とベトナム人の日本就職、日系企業就職への円滑な人材育成に向けた提携強化と交流の必要性を確認した。また日本側参加学校のベトナムの大学等への視察も同時に行い、日本側のベトナムの教育とニーズの理解に努めた。また双方の交流モデルの基盤を形成した。具体的には個別報告を参照してほしい。

## 2 - B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入

2 - A. 事業で交流したベトナムの教育機関のうち8学校の関係者を日本へ招へいし、大阪の専修学校の視察受入を行った。学校視察、企業視察、企業関係者・学校関係者とのセミナーと意見交換会を実施し、専門学校の実況、日本留学の受入の実況、専門学校留学生採用企業など実態を把握していただいた。現地交流で課題とした双方の提携強化による円滑な留学生受け入れの問題について、ベトナム側の深い理解と共感を得た。特に地域企業が必要としている外国人材について知ってもらえたことは日本留学の着地点を明確にすることにも繋がり、より強固なネットワークを図るため重要であった。

今回の事業の実施によって、具体的にベトナムの高等教育機関と日本側の専門学校の提携により現地教育から日本留学による人材育成が双方にとって、円滑に実施できる道筋ができた。また現地の教育機関が日本の専門学校が担っている職業教育を高く評価してくださり、アカデミック教育と職業教育の複線型の提携が重要だと認識していただけたことは、とても意義のあることだった。

## (3) 国内日本語学校への専修学校留学生の職業教育の理解促進

### 3-A. 日本語学校への専修学校職業教育の理解促進のための連携事業

外国人留学生の就職サポートを行うには、専門学校入学後だけでなく日本語を学ぶ段階から実施することが、より効果的であり、そのためには、海外から最初の受け入れ先となる日本語学校と専門学校との職業教育の連携を構築する必要がある。それ故、ここ数年間は、まず『留学生職業人育成セミナー』を開催し、日本語学校の教員に対して、専門学校（職業教育）の理解を深めてもらえるよう務めた上で、次のステップとして、『出前授業』の実施を行ってきた。

その結果、専門学校と日本語学校との連携の構築も十分に図れて来ている所も数校でてきており、今年度からは、従前の『留学生職業人育成セミナー』は開催せずに、『出前授業』実施の為の広報媒体であるリーフレット作成にウエイトを置き、これまで以上に日本語学校に対する講座案内を行い、出前授業実施への展開とした。

## (4) 留学生採用意欲を持つ中小企業と専修学校との連携事業

### 4-A. 留学生採用企業交流会の実施

今回も大阪商工会議所の協力を得て企業からの参加を募り実施したが、ようやく「産」「官」「学」連携も根付いてきたようで、今年度も近畿経済産業局、大阪府、大阪市関係部署からの参加を得、企業からの参加人数も過去最高であった昨年度をさらに上回る人数で開催することができた。また、研修会の内容についても今年度は見直しを図り、これまでは独立した事業として進めていた「平成26年度 留学生職業人育成ガイド」をプログラムの中で使用し、事業全体の一貫性をアピールした。

これまでは配布するのみであった「平成26年度 留学生職業人育成ガイド」を交流会の前に行うミニ研修会でテキストとして活用した。このことで、より一層ガイドブックの存在意義を高められたと考えてい



る。採用を考えている企業担当者にとっては、このガイドブックの意味も理解していただいたと思われるので、次年度以降も継続して活用方法を提示してゆきたい。

今回の交流会ではもう一点、新たな取り組みとして、留学生という立場から日本国内の企業に就職し、現在就労中の方にも話をしていただく機会を設けた。特に、就職活動を含む出身国との文化の違いについての実体験は、企業の採用担当者にとってはなかなか聞く機会のないことであったからか、熱心にメモを取る姿が印象的であった。加えて、グループディスカッションのメンバーとして現役の留学生にも参加してもらい、意見を聞いた。こうした取り組みは過去にはしてこなかったが、企業側からは新鮮であったようで、熱心に耳を傾け、身を乗り出し聞き入る姿が見て取れたことは嬉しい成果であった。

昨年度の報告で「今後の課題」として掲げていた「要となるのはどこか」という点については、職業人を育成する専門機関ということで、やはり我々専門学校が積極的に推進していく必要があることを実感する交流会となった。参加者アンケートの結果から、企業側も学校側もこのような機会があることに対しては賛同されている。ただ、我々からすればこの事業を立ち上げてから8年が経過しており、交流会の取り組みは2年目より行っているのに、まだまだ認知されていなかった点は反省される。今後は、この活動がもっと広く知れ渡るように広報活動もしていくことが必要である。

#### 4 - B : 専修学校職業教育普及のための外国人留学生採用ガイドブックの作成

留学生職業人育成ガイドは、専門学校進学を希望する留学生、国内外の日本語教育機関、留学生採用を検討している企業を対象とし、留学生の受け入れから卒業、就職までの流れを分かりやすくまとめた有益な情報源としての役割を担ってきた。

昨年度は、留学生の就職事情が多種多様化していることから、卒業生の紹介については母国において活躍する事例を増やし、さらに内定を得たばかりのフレッシュな事例も多数掲載した。また、非漢字圏の留学生数の伸びが顕著になってきたため、漢字圏の留学生に偏ることなく、できるだけ多くの国籍をバランス良く掲載することに努めた。

昨今、ベトナムなど、東南アジアの国々に進出する企業が目立ち、非漢字圏留学生の採用を検討する企業が増えてきている。この状況を受け、今年度の職業人育成ガイドは、留学生を採用している、あるいは採用を検討している企業を対象として作成する。このため、留学生の採用担当者に役立つ情報として、就労ビザ関係の基礎知識も冊子に盛り込むこととする。

#### 6. 委託事業の成果

今年度の事業は、大専各が過去5年間にわたり「関西型留学生就職支援基盤の構築事業」、「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」において推進してきた「専修学校留学生の受入の整備、専修学校留学生のための職業教育モデルの構築、産・官・学の連携による専修学校留学生の採用促進のための連携の強化、留学生の受入から就職までのワンストップサービスの定着」を一歩進め、かつ新しい課題にも挑戦し、留学生の日本就職の推進事業を新しい段階へと導くことができた。

日本の専門学校での留学生への職業教育の質の高さを国内外へ普及することができ、WEBコンテンツの充実、海外拠点整備、日本語学校連携事業、企業交流会という事業を通して、一層のプレゼンスを得ることに成功した。

今年度の課題として取り組んだベトナム人材の育成について、拠点整備として、大きな成果を得、今後海外の高等教育機関と専門学校のグループが具体的提携をし、留学送り出しと受け入れの一貫教育の可能性を拓き、この人材育成を企業へ送り出す理想の形がモデルとして提案できるまでとなった。なおこのモデル形成に大阪府、大阪商工会議所をはじめ地域の産業界、行政が協力して実施できたことは、これまでの基盤の形成のおかげであった。

## 7. 今後への提言

### (1) 次年度以降における課題

次年度以降の課題としては、上記の成果と個別事業での実施成果を踏まえ、以下の課題を継続して取り組むとともに、これまでの網羅的な事業展開から重点的、集中的な取り組みに転換していくことが求められている。具体的には以下の課題がある。

- 1) 留学生の日本就職支援を文部科学省の事業受託で長く実施してきた、留学生支援の項目や必要なスキルや知識については、採用側と学校側とでの共有が進んでいるが、企業の東南アジア進出の本格化や日本国内での外国人材受け入れ後の人材育成や活用などのテーマに出くわしていることを考えれば、再度、企業ニーズを調査する必要がある。常に市場の変化に対応した企業ニーズをとらえておくことが重要である。
- 2) 出口としての企業側のニーズを把握するとともに、専門学校での留学生教育の質保証を再度見つめ直さなければならない。またこれに直結して入り口としての留学生の受け入れについても海外及び国内の送り出し機関と連携した対策が重要である。特にベトナム人材の受け入れは、日本語学校において大量に受け入れたが、思うように日本語教育が進んでいない。極めて低い日本語力しか全体として習得できていないという課題が存在する。これまでの東アジアの漢字圏を中心とした語学教育と専門教育の在り方が問われている。円滑な受け入れを進めるとともに、非漢字圏の学生の語学教育と専門教育の在り方について上記の質保証の観点も含めて、日本語学校、現地教育機関などの送り出し教育機関と連携して、新たに開発し、普及する必要がある。
- 3) 日本の専門学校における職業教育の質の高さを、国内外の教育機関や出口となる企業に次年度以降も継続的に訴求することが極めて重要である。そのためにWEB活用、企業との交流会、啓発冊子の配布などの事業を継続的に実施する必要がある。

### (2) 今後への5つの提言

留学生に対する職業教育の質の高さと産官学の強い絆を持つ私たち関西の専修学校は、これまでの成果をより推進するため、重点的な施策の実現、新たな課題の解決をリードすべき立場にあると自負している。そのため、今年度は以下の提言を、行政、業界団体、産業界へ行う。

**提言 1 多国籍で多様な文化を持つ留学生の受入れ体制の整備・拡充を。**

**提言 2 留学生を日本に引き付ける日本の魅力と専修学校の職業教育の魅力を世界へ発信。**

**提言 3 留学生基礎力の拡充、専修学校の留学生職業教育の深化と普及を。**

**提言 4 留学生就職支援基盤の充実により専修学校留学生の更なる就職促進を。**

**提言 5 専門学校の各分野留学生の日本就職の制限となっている「在留資格制度」の  
早期の改定と弾力的な運用を！**

## 第2章：事業別成果報告

### 1. WEBサイトを活用した国内・海外への留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信

#### 1-A. WEB上での留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信

##### 1. 目的・ねらい等

WEB上でのワンストップサービスを目指した国内・海外向け留学・就職支援サイトの構築を推進し、E-learningなどのコンテンツの充実により活性化を推進し、交流広場（SNS）では、情報交換や情報発信を推進する。又、「留学生職業人育成ガイド」は、国内の留学生が専門学校に進学を検討するのに有効なガイドであるとともに企業にとっても留学生採用を検討する際の有効な情報源となっているため、サイトからそのままダウンロードできるようにする。さらに「留学生職業人育成ガイド」と連携する形でサイトの作成を行う。

具体的には以下の手順でサイト構築を実施する。

- ①サイト全体の再構築
- ②留学生職業人育成ガイドの発行
- ③留学生職業人育成ガイドのWEB内作成・アップ
- ④留学生就職支援のためのE-learningコンテンツの作成・実装
- ⑤交流広場（SNS）構築による情報発信・情報交換の実装

##### 2. 関連して行った事業名

「4-B 専修学校職業教育普及のための外国人留学生採用ガイドブックの作成」

##### 3. 実施結果

多言語化を見据え、サイト内の既存コンテンツを再度検討・整理し、留学生職業人育成ガイドとの連携を図りつつサイトの再構築を行った。

各種ニュース発信機能、留学生基礎力教材等の既存コンテンツは維持しつつ、今年度事業で作成した「留学生職業人育成ガイド」「出前授業メニュー」等がダウンロードできるようにするとともに、新規に留学生の就職準備に役立つビジネス日本語のE-learningコンテンツの作成・実装、交流広場（SNS）の新設等を行い、サイトの活性化を目指しより魅力あるサイト構築を行った。

##### <サイト利用状況>

対象期間：2015年2月22日現在（2014年9月から）

訪問数 3,762

ユーザー数 2,624

ページビュー数 9,217

##### <新規コンテンツ>

E-learningコンテンツ（サンプル例参照）

ビジネス日本語トレーニングテスト（敬語編、挨拶編、ビジネスマナー編）

就職支援チェックテスト 面接編

ビジネス日本語能力テスト（聴解、読解）

交流広場（SNS）

##### <ダウンロードサービスコンテンツ>

留学生職業人育成ガイド（PDF）

出前授業メニュー（PDF）

教材提供サービス（初級・中級）（PDF、Word）

#### 4. 当初目的の達成状況

サーバは比較的早期に立ち上げたが、既存コンテンツの整理、各種新規コンテンツの作成・実装については時間を要したため、今年度事業で目指した内容のサイト運用は1月まで開始がずれ込んでしまい、当初目指していた早期運用開始とはいかなかった。

しかし、当サイトにおいて、既存コンテンツである留学生基礎力教材に加え、就職準備に向けたビジネス日本語等のE-learningコンテンツ、SNS等それなりに充実したものが開発、実装できた。

実質的な運用開始が遅れたため数値的な確認は難しいが、国内外へ「関西」と「専門学校職業教育」の普及、本事業の告知・周知等を行い得る情報発信サイトの構築・充実が出来たと考える。

#### 5. 成果

サイトを再構築し、E-learningで就職支援コンテンツを増やしたことで、留学生が就職準備に役立つ情報が増え、アクセス数も増加してきた。さらに交流広場(SNS)を構築したことで情報交換の場が展開出来てきた。

#### 6. 成果物

大専各留学生支援サイト

<WEB上のコンテンツ>

E-learningコンテンツ(サンプル例参照)

ビジネス日本語トレーニングテスト(敬語編、挨拶編、ビジネスマナー編)

就職支援チェックテスト 面接編

ビジネス日本語能力テスト(聴解、読解)

交流広場(SNS)

<ダウンロードサービスコンテンツ>

留学生職業人育成ガイド(PDF)

出前授業メニュー(PDF)

<継続使用の既存コンテンツ>

ニュース・セミナー情報

教材提供サービス(初級・中級)(PDF、Word)

#### 7. 次年度以降における課題・展開

今年度は、E-learning、交流広場の実装など、コンテンツ充実は一定の取り組みが出来た。しかし、まだまだコンテンツの充実は必要であるし、その多言語化も求められている。

現在、サイト内の言語は日本語のみであり、海外に対しての情報発信サイトを目指すためには多言語化が欠かせない課題である。

また、このサイトの認知度をより向上させ、活性化させていくためには、適宜コンテンツ等の追加・更新を行うとともに新鮮な情報発信を継続することも必要である。

このサイトをWEB上でのワンストップサービスを目指した国内・海外向け留学・就職支援サイトとしていくためには、次年度以降も継続的に運営していくことが必要である。

さらに、このようなサイトの性質から見て、今回の様に研究委託費に頼るだけでなく、自律的に管理・運営していくことが出来る体制・運営方法を検討することも重要な課題である。

8. 実施資料 【1-A. 事業の参考資料】 E-learning の 1 例

## 問題集リスト

 <p><b>就職支援 チェック テスト</b> 面接編 (2014.12.11版)</p>	 <p><b>ビジネス 日本語 トレーニング テスト</b> 敬語編 (2014.12.11版)</p>
 <p><b>ビジネス 日本語 トレーニング テスト</b> ビジネスマナー編 (2014.12.11版)</p>	 <p><b>ビジネス 日本語 トレーニング テスト</b> 挨拶編 (2014.12.11版)</p>
 <p><b>ビジネス日本語能力 テスト聴解問題</b> (2014.02.26版)</p>	 <p><b>ビジネス日本語能力 テスト読解</b> (2014.02.03版)</p>

## 大専各eラーニング

プレビュー中 採点対象外

### ビジネス日本語トレーニングテスト 敬語編

残り時間

1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

設問 1 配点:5点

(上司に都合を聞きます。) 今度の水曜の\_\_\_\_\_。

解答 ビジネス日本語トレーニングテスト 敬語 回答 (単一選択)

1. 都合はどうですか

2. ご都合はどうしますか

3. ご都合はいかがでしょう

4. ご都合はどうなさいますか

▶ 回答する

問10. 設問10



不正解

正解は...

2. いすの横で短く自己紹介をしてからおじぎをする

部屋に入り、いすの横に立ったら自己紹介をします。学生でしたら学校名・学部名と名前を、学生でなかったら名前を言って「本日はよろしくお願ひいたします」と言うてから、おじぎをします。自己紹介をしながらおじぎをはいけません。また、部屋の中をあちこち見たり、「どうぞ」といわれる前にいすに座ってはいけません。

大専各eラーニング

プレビュー中 採点対象外

就職支援チェックテスト 面接編

残り時間

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

設問 10

配点:5点

部屋に入り、いすの横まで来ました。次にどうしますか。

解答 就職支援テスト 回答 10

(単一選択)

1. いすの横に立って、何か言われるのを待つ

2. いすの横で短く自己紹介をしてからおじぎをする

3. いすの横に立って、部屋をよく見る

4. すぐにいすに座る

▶ 回答する

## 2. 専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備

### 2-A. 現地教育機関との交流会の実施

#### 1. 目的・ねらい等

現在ASEAN諸国からの送り出しの中心となっているベトナム現地において大学・短期大学・高校・日本語学校との直接のネットワークを形成するため現地での交流事業を実施する。具体的にはハノイ、ホーチミンで「日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー」を開催する。同セミナーの実施により現地教育機関に日本の専修学校の教育内容を理解していただくとともに、留学送り出しから専修学校への入学までの円滑で秩序だった流れの整備を双方の課題として解決策を策定する。

#### 2. 関連して行った事業名

「2-B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」

#### 3. 実施結果

##### (1) 日程

ベトナム視察 平成26年11月24日(月)～29日(土)

行程	実施内容	視察先
11月25日(火)	日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナーIN ハノイ ハノイ現地教育機関訪問・視察	ハノイ
11月26日(水)	ハノイ現地教育機関訪問・視察	ハノイ
11月27日(木)	日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナーIN ホーチミン ホーチミン現地教育機関訪問・視察	ホーチミン
11月28日(金)	ホーチミン現地教育機関訪問・視察	ホーチミン

##### (2) 参加校

- ①上田学園 (上田安子服飾専門学校／大阪総合デザイン専門学校／  
大阪エンタテインメントデザイン専門学校※ホーチミンから参加)
- ②エール学園
- ③大阪YWCA専門学校
- ④修成建設専門学校
- ⑤清風情報工科学院
- ⑥瓶井学園 (日本コンピュータ専門学校／日本メディカル福祉専門学校／日本理工情報専門学校)

(3)実施内容

1) 「日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー」 IN ハノイ

①開催日：平成26年11月25日(火)

②会場：Japan Human Resources Cooperation Center Hanoi (VJCC)

③参加人数：21団体28名

内訳：ベトナム教育機関(高校・短期大学・大学)14校22名/日本の教育機関7校6名

④プログラム

セミナープログラム
(1) 講演1 ご挨拶・講演「ベトナムからの日本留学の動向と課題について」 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長 長谷川 恵一
(2) 講演2 「進出日系企業の動向と、進出日系企業の人材ニーズ、育成事例」 日本貿易振興機構(ジェトロ)ハノイ事務所
(3) 本専門学校 紹介(自校紹介 15団体7校) ①エール学園 ②大阪YWCA専門学校 ③修成建設専門学校 ④清風情報工科学院 ⑤瓶井学園(日本コンピュータ専門学校/日本メディカル福祉専門学校/日本理工情報専門学校)
(4) ベトナム教育機関参加者 紹介

2) 「日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー」 IN ホーチミン

①開催日：平成26年11月27日(木)

②会場：Japan Human Resources Cooperation Center Ho Chi Minh City (VJCC-HCMC)

③参加人数：29団体28名

内訳：ベトナム教育機関(高校・短期大学・大学)19校22名 /日本の教育機関10校6名

④プログラム

セミナープログラム
(1) 講演1 ご挨拶・講演「ベトナムからの日本留学の動向と課題について」 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長 長谷川 恵一
(2) 講演2 「進出日系企業の動向と、進出日系企業の人材ニーズ、育成事例」 日本に留学し、学んだベトナム人への日系企業のニーズ/求められる日本語能力 ホーチミン日本商工会 理事 クイックベトナム 代表取締役社長 古屋 竹雄氏
(3) 本専門学校 紹介(自校紹介 6団体10校) ①上田学園(上田安子服飾専門学校/大阪総合デザイン専門学校/大阪エンタテインメントデザイン専門学校) ②エール学園 ③大阪YWCA専門学校 ④修成建設専門学校 ⑤清風情報工科学院 ⑥瓶井学園(日本コンピュータ専門学校/日本メディカル福祉専門学校/日本理工情報専門学校)
(4) ベトナム教育機関参加者 紹介



### 3) ベトナム現地教育機関視察

①視察日程：11月25日（火）～28日（木）

②視察内容（学校別に訪問校を掲載）

#### 上田学園

- ①さくら日本語学校（ホーチミン） 2014. 11. 25 訪問
- ②ホンバン国際大学日本語学部及び美術学部（ホーチミン） 2014. 11. 26 訪問
- ③グエンタットタイン大学（ホーチミン） 2014. 11. 27 訪問

#### エール学園

- ①ハノイ貿易大学（ハノイ） 2014. 11. 25 訪問
- ②ドンドー私立大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ③ハノイ大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ④PLC日本語センター（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ⑤ホーチミン文献大学（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問
- ⑥ホーチミン市人文社会科学大学（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問
- ⑦人民言委員会（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問

大阪YWCA専門学校修成建設専門学校とともに、現地教育機関等を訪問。

#### 修成建設専門学校

- ①タンロン短期大学（ハノイ） 2014. 11. 25 訪問
- ②第一建設短期大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ③ドンドー私立大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ④建設大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ⑤レ・クイ・ドン高校（ホーチミン） 2014. 11. 27 訪問
- ⑥ホーチミン技術師範大学（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問
- ⑦ドンズー日本語学院（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問
- ⑧KAIZEN YOSHIDA SCHOOL（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問

#### 清風情報工科学院

- ①エイコー日本語センター（ハノイ） 2014. 11. 25 訪問
- ②ハノイ工業大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ③ハノイ工科大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ④ハノイ工科短期大学（ハノイ） 2014. 11. 26 訪問
- ⑤FPT大学（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問
- ⑥ホーチミン市情報通信短期大学（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問
- ⑦ひかり日本語学校（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問

#### 瓶井学園

- ①タンロン大学（ハノイ） 2014. 11. 25 訪問
- ②ZEN日本語学校（ハノイ） 2014. 11. 25 訪問
- ③PLC日本語センター（ハノイ） 2014. 11. 25 訪問
- ④FPT大学（ハノイ） 2014. 11. 25 訪問
- ⑤TERAKOYA日本語学校（ホーチミン） 2014. 11. 27 訪問
- ⑥カタオン技術短期大学（ホーチミン） 2014. 11. 27 訪問
- ⑦ラクホン大学（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問
- ⑧サイゴン情報技術専門学校（ホーチミン） 2014. 11. 28 訪問

#### 4. 当初目的の達成状況

大阪府内の専門学校へ今回のプログラムを広く告知・参加を募った結果として日本側参加教育機関が6法人10専門学校の参加となった。ベトナム側教育機関の参加は、ベトナム側の集客の努力が実を結びハノイ19校、ホーチミン14校と予想を上回る数となった。

また、ただ参加するだけでなく、どのベトナム側の教育機関もかなりの真剣度であり、セミナーの途中休憩や終了後も積極的に日本側参加校との交流を図っていたことから分かるように、日本における専門学校のプレゼンスが充分伝わったセミナーだった。当初の目的であった日本の専門学校における職業教育の質の高さへの理解と円滑な日本留学の促進のための双方の協力の第一歩となった。

#### 5. 成果

ベトナムにおいての専門学校とは所謂職業訓練学校であり、日本の専修学校の位置づけも低いものであるのが実情であった。しかしながら、今回のセミナーの実施により「留学=大学進学」だけではなく、日本の専門学校の教育レベルの高さや卒業後の就職に関して理解を得られると共に、専門学校への留学といった新たな選択肢をベトナム側の参加校に強く印象付ける結果となった。

事実、各ベトナム側参加教育機関も積極的に今回参加した日本側学校と様々な方法での提携・交流を望んでおり、今回の交流会が新たな日本の専修学校への留学といった流れを生む第一歩となった。ベトナムの高等教育機関と日本の専修学校の団体が協力関係を結び、双方の協力により、円滑で秩序だった留学と日本企業就職までのワンストップの道筋を作る契機となった。

#### 6. 成果物

実際の成果物としては、「2 - B.現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」に順調に繋がったことである。

#### 7. 次年度以降における課題・展開

課題としては、このような海外市場に目を向けて積極的に学生を受け入れようとするより多くの日本側学校の参加を募ること、また、単発の交流に終わるのではなく、いかに継続的な交流を実施していくかを検討していくことが重要かと思われる。

今後の展開としては、日本の専門学校とベトナムの教育機関の関係性が益々活性化していくためにも、今回参加した日越の学校間で先例となるような提携実績を作り、それを一つの良い事例として提示し、広げていくことが重要である。その結果として現在起こっているベトナム人留学生の受け入れの課題解決と、ベトナム人留学生の日本受け入れから日本企業就職までのワンストップサービスを実現することが望まれる。

8. 実施資料

(1) セミナー出席簿

ベトナムセミナー参加学校リスト(ハノイ)		
No	学校名	セミナー参加人数
1	HANOI UNIVERSITY ハノイ大学	2
2	Hanoi University of Science and Technology ハノイ工科大学	1
3	Hanoi University of Industry ハノイ工業大学	1
4	Eikoh Vietnam Co.,Ltd エイコー日本語センター	1
5	FPT University FPT大学	3
6	Pacific Language Center PLC日本語センター	2
7	Dong Do University ドンドー私立大学	2
8	Nationa University of Civil Engineering 建設大学	3
9	Construction Technical College No.1-CTC1 第一建設大学	欠席
10	Thang Long Vocational College タンロン短期大学	1
11	Thang Long University タンロン大学	1
12	Asean College アセアン短期大学	1
13	Vietnam Japan Human Resources Cooperation Center VJCC	1
14	ZEN Joint Stock Company ZEN日本語学校	1
15	Hanoi National University ハノイ国家大学	欠席
16	YUKI日本語センター	1
17	タンロン短期大学	2
18	Hanoi Vocational College of Technology ハノイ工科短期大学	欠席
19	ハノイ貿易大学	欠席
合 計		23

ベトナムセミナー参加学校リスト(ホーチミン)		
No	学校名	セミナー参加人数
1	Le Quy Don High School レ・クイ・ドン高校	1
2	Hong Bang University International ホンバン国際大学	1
3	Nguyen Tat Thanh University グエンタツタイン大学	2
4	Terakoya Japanese Language School TERAKOYA日本語学校	2
5	FPT University FPT大学	1
6	LAC HONG University ラクホン大学	2
7	Information Technology College Ho Chi Minh City ホーチミン市情報通信短期大学	2
8	Cao Thang Technical College カオタン技術短期大学	3
9	Hikari Academy ひかり日本語学校	2
10	VAN HIEN University ホーチミン文献大学	3
11	Ho Chi Minh City University of Social Sciences and Humanities ホーチミン市人文社会社会大学	1
12	ASEAN Institute of Research & Education アセアン教育研究学校	2
13	Saigon Information Technology of College サイゴン情報技術専門学校	欠席
14	University of Technical and Education Ho Chi Minh City ホーチミン技術師範大学	欠席
合 計		22

日本の担当学校リスト(ハノイ)		
No	学校名	セミナー参加人数
1	エール学園	1
2	大阪YWCA専門学校	1
3	修成建設専門学校	1
4	清風情報工科学院	1
5	瓶井学園(日本コンピュータ専門学校・日本メディカル福祉専門学校・日本理工情報専門学校)	1
合 計		5

日本の担当学校リスト(ホーチミン)		
No	学校名	セミナー参加人数
1	上田学園(上田女子服飾専門学校・大阪総合デザイン専門学校・大阪エンタテイメントデザイン専門学校)	1
2	エール学園	1
3	大阪YWCA専門学校	1
4	修成建設専門学校	1
5	清風情報工科学院	1
6	瓶井学園(日本コンピュータ専門学校・日本メディカル福祉専門学校・日本理工情報専門学校)	1
合 計		6

(2) 「日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー」 IN ハノイ 実施風景  
(平成26年11月25日)



(3) 「日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー」 IN ホーチミン 実施風景  
(平成26年11月27日)



(4) 参加専門学校校別 視察報告書

視察報告〔1.上田学園〕

1. 学校名：学校法人 上田学園  
 視察担当者：上田哲也（理事長）、門田久幸（アドバイザー）

2. スケジュール

- ①視察日程 11/24-29（ホーチミンのみ）
- ②セミナー 11/27 ホーチミン・セミナー
- ③視察スケジュール（ハノイ）→不参加
- ④視察スケジュール（ホーチミン）→参加（以下の通り）

日程	スケジュール・視察先	訪問・視察内容
11月24日	台北経由ホーチミン着 国際交流基金ホーチミン事務所	藤島所長との意見交換。
11月25日	CMA（ホーチミンで唯一のマンガの専門学校兼出版社）訪問  さくら日本語学校	今後のマンガ教育での提携可能性につき社長と意見交換。  留学生送りこみについて協議。 マンガ専攻について検討。
11月26日	ホンバン国際大学日本語学部及び美術学部 訪問	ホンバン大学と上田学園との提携を前提とした訪問。  「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入」のメンバーとしてマンガ・アニメを担当している美術学部アニメ学科長を推薦してもらうように交渉。
11月27日	日本留学と専修学校の職業教育理解促進 セミナーに参加  グエンタットティン大学訪問視察	ホンバン大からの日本派遣者は 美術学部長を学長が推薦している旨の報告を受けたが、後の交渉により、当方の希望通り、アニメ学科長の派遣が固まった。  ファッション専門学校のホーチミン校設立への協力打診を受けたが、そのためには、まず、ベトナム側が大阪に来て上田学園の教育内容を視察・吟味し、現地で教える教員養成のために大学教員、学生を大阪に留学させることが先決であると回答している。
11月28日	ホーチミン出発、台北経由帰国	

3. 視察報告（上記2に記載）

- ①視察先教育機関名/②視察先教育機関の概要/③日程

## 視察報告 [2.エール学園]

1. 学校名：学校法人 エール学園  
視察担当者：長谷川 恵一

2. スケジュール

- ①視察日程 11/25-28  
②セミナー 11/25 ハノイ・セミナー／11/27 ホーチミン・セミナー  
③視察スケジュール（ハノイ）→参加（以下の通り）  
④視察スケジュール（ホーチミン）→参加（以下の通り）

日程	スケジュール・視察先	訪問先・視察内容
11月25日	ハノイ貿易大学  日本留学と専修学校の職業教育理解促進 セミナー（ハノイ）	VN HOANG NAM氏 訪問 ・授業見学  ・留学生送りこみについて協議。
11月26日	ハノイ貿易大学  ドンドー私立大学  ハノイ大学  PLC日本語センター	再訪問   日本語学部長 TRAN THI CNUNG TOAN氏訪問  神野学園 社長 佐藤健司氏
11月28日	ホーチミン文献大学  ホーチミン市人文社会科学大学	ヒエン日本語学部副学科長

3. 視察報告

1) ハノイ貿易大学

①視察先教育機関名：ハノイ貿易大学 (VN HOANG NAM氏)

②日程：2014年11月25日、26日

③-1 視察結果 (VN HOANG NAM氏) 11月25日

朝8時から授業があり授業に参加させていただいた。NAM先生の講座ではセクハラについて学生が日本語で発表していた。PPTを使いアニメを活用したなかなか工夫された発表であった。そのあと私が就職準備コースと国際デュアルビジネスコースを中心について説明をした。1人だけ目の色を変えた学生がいたが、その他の学生も熱心に話を聞いてくれたので、思った以上の引きを感じた。基本的には日本の東大レベルの大学なので、ほとんどベトナム国内の就職に目をむけていると聞いていたが、そうでもなさそうである。ベトナム語の日本語学科のパンフレットで説明をしたが、日本語学科と専門学校の両校を活用した就職までの流れについて説明したが、図がシンプルに描かれているので、学生たちには分かりやすいようだ。

③-2 視察結果 11月26日

再度貿易大学を訪問し、NAM先生の部屋でお話することになった。もう一度朝お話しした内容について詳しくお話ししたところ、先生は大変喜ばれて、是非留学させたい、希望者もいますとのことであった。また単位互換についてもやりましょうということになり、単位互換についても進みそうである。そし

て1月に日本に招待をしたいとお話しすると、またこれについても喜んでいただき、是非いきたいと  
のことである。ただ単位互換については上司に直接聞いてもらわないと了解されにくいので、2人で  
もいかといわれたので、了解すると応えた。そのあまりにも話しがトントン拍子に進んだので、お  
食事にお誘いして親交を深めた。

## 2) ドンドー私立大学

①視察先教育機関名： ドンドー私立大学

②日程：2014年11月26日

### ③視察結果

昨日セミナーに参加した大学であった。学長のほか外国語学部の関係者が参加していた。全員に名刺  
をお渡ししたが、誰も名刺をいただけなかった。学部は9学部で環境学部、経営学部、国際関係学部、  
観光学部、インフォメーション学部等々である。この大学は日本語学科がなく副専攻で実施している  
ようだ。今後本格的に日本語教育を実施するに当たり、外部からも日本語学習者を集めたいとのこと。  
レベルの話しをしていてもあまり通じなくてもどかしかったが、よく日本語学習についてご存じなか  
ったので、致し方ないのかもしれない。協定を今日結べないかといわれたが、まだ御互い良く理解し  
合っていないので、もう少し交流を進めた上で話にしたいと伝えた。話し合いが終わって、日本語  
を学習しているクラスに呼ばれて、学生達と話しをしたが、日本に留学したい人と聞くとほぼ全員手  
を上げていた。あまりにも安易な進め方であったので、お付き合いするには課題が多すぎる学校と判  
断した。

## 3) ハノイ大学

①視察先教育機関名： ハノイ大学（日本語学部長 TRAN THI CNUNG TOAN氏）

②日程：2014年11月26日

### ③視察結果

TOAN先生のクラスに入って学生たちに説明をさせていただいた。人数は20人ほどのクラスで、クイ  
ンさんが訳さなくてもうなずいていたので、かなり理解力はあるようだ。留学したい人といって手を  
上げていただいたが8割の学生が手をあげていた。基本はN1が1人、N2が4割、あとはN3であ  
った。日本で就職したい人はと尋ねるとほとんどの人が手を上げた。N1の学生はクインさんが良く  
知っているようであった。そのあと国際デュアルビジネスの説明をすると、学生たちは食い入るよう  
に私の説明を聞いていた。この大学もかなりの可能性を感じた。このクラスの中には社会人クラスと  
本科のクラスが混じていたが、違いを聞いてもあまり良く分からなかった。中澤さんが今度KYC  
光洋機械産業がホーチミン工場をつくるので、ベトナム  
人を10名ぐらい雇いたいと話すと、全員が彼の名  
刺に殺到していた。クラスの説明のあとTOAN先生と話  
しをした。貿易大学のような単位互換の話しをしたが、  
この大学では難しいといわれた。

3年4年ではほとんどが通訳翻訳の専門事業をするの  
で、日本語だけの事業は出来ないといわれた。可能性が  
あるとすれば卒業してからの学生我対象となりそうな  
ので、学校との契約は必要なさそうである。1月の招待  
の話しをしてみたが、そんな積極的な話はなかった。





#### 4) PLC日本語センター (Pacific Language Center)

①視察先教育機関名：PLC日本語センター (Pacific Language Center)  
(神野学園) (社長 佐藤健司氏)

②日程：2014年11月26日

#### ③視察結果

中日本自動車短期大学などを岐阜で経営している人の学園がベトナム進出した学校で、企業からの委託で日本語教育を行ったり、一般募集の学生に日本語教育を行ったりしている。留学の送り先は東京、岐阜、大阪、福岡の専門学校日本語教育機関に送り出している。佐藤氏はビジネス的な話に終始しておられて、少しも学校らしい雰囲気は感じられなかった。3ヶ月単位で授業を回し年間1,000人の教育をされているとのことであったが、建物の規模から言ってかなり疑わしい。しかし建物や教室はかなり整備されていて美しかった。佐藤氏はタイのフェアでテラ外語の長谷川君と会っているらしい。



#### 5) ホーチミン文献大学

①視察先教育機関名：ホーチミン文献大学

②日程：2014年11月28日

#### ③-1 視察結果 11月28日

急にキャリアデザインの1年生、2年生の授業に参加して欲しいと依頼があり、100人ほどが集まる授業に参加して、国際デュアルビジネスコースの説明を行った。基本的なコースの概要をクインさんに説明してもらい、そのあと7～8分ほどのエールのDVDをかけたところかなり熱心に見入っていた。

#### ③-2 視察結果 (HO THI DIEU THU氏)

昨日交流会に参加された女性の先生が話し合いに参加された。趣旨は明越グループという会社が非専攻の学生だがレベルの高い授業をしてくれるので、N2の学生を輩出することが出来る話されていた。ベトナム現地でN2はかなり難しいと話したが、自信ありそうな口ぶりであった。明越グループの人がかなり売り込んでいるのだろうが、実際はとても難しいと思う。エールの就職プログラムで学生募集をしたいという考えのようだ。

#### 6) ホーチミン市人文社会科学大学

①視察先教育機関名：ホーチミン市人文社会科学大学 (ヒエン日本語学部副学科長)

②日程：2014年11月28日

#### ③視察結果

ヒエン先生は今年広島大学で日本語のドクター取られたようだ。かなり積極的な方で、ホーチミンのトップ大学にもかかわらず、我々の話を熱心に聴いてくださった。クインさんによると最初から今回の日越学校交流セミナーには参加される予定だったが、途中で参加しないという情報が入ってきて、クインさんがもう一度確認すると、その情報が間違いであったようだ。先生に単位互換の話を進めてみたがカリキュラム上難しいといわれた。ハノイ大学で言われた内容に近い話であった。エールでは



そのプログラムをカバーすることは出来ないと判断されているようだ。しかし今回1月に参加するツアーは是非参加したいとのことであった。今後この大学の学生をエールに呼べる可能性がでてきたことはあり難い。連携の可能性もある。

## 7) 人民委員会

①視察先教育機関名：人民委員会

②日程：2014年11月28日

③視察結果

大阪府国際交流監の中井氏の手紙をお送りした女性の秘書の方がお会いして下さった。ご本人は私では失礼になるのではないかと会うのをためらっておられたが、クインさんが事情を説明しお会いして下さり、こちらの要望を上司に伝えていることを、また手紙が上司にわたっていることも確認できた。

## 4. 本事業の成果

(1) 日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー（ハノイ）の成果

今回のセミナーに14校28名の参加者を得ることが出来た。GAコンサルタンツの安藤様やハノイ駐在の琉咲様のお陰で大変充実したセミナーとなった。意外にトップレベルの大学が参加していただいたのには驚いた。日本側の専門学校にとっては提携したい大学群が来て下さっていたと思われる。提携できるかどうかは今日の午後からの訪問によって決まることだが、手ごたえは十分あったと思われる。エール学園にとってもレベルの高い大学との交流が持てて、期待感が醸成された感じだ。クインさんも思った以上の大学が来ていたので、急遽スケジュールを変更して、お会いしたい大学のアポを入れてくれていた。ハノイ大学のクインさんの恩師ロン先生も来ておられ、翌日訪問させていただくことの御礼をお伝えした。まだ1日だけだが、今後の可能性を感じる日となった。また理系のトップであるハノイ工科大学も来ていた。ここは清風情報工科学院が連携を希望した大学とのことだが、日本理工情報専門学校の中森さんが提携したいとの意向で、私が平岡先生と調整する旨をお話する。エールも接触してみたが、LE HONG HAI 先生は今後お話しをしましょうということにもなった。

(2) 日本留学と専修学校の職業教育理解促進セミナー（ホーチミン）の成果

11月27日ホーチミンで実施したプログラムを全く同じ形で実施した。ハノイの日越学校交流ツアーとの違いは次の点だけである。上田学園の上田理事長がお話された。もう一点はホーチミン商工会から紹介を受けた講師がクイックベトナムの古屋竹雄氏になったことである。クイックは大阪でお付き合いしているクイックのベトナム支社とのことである。色々なご縁があるものだと驚いた。交流事業の参加者は28名とハノイと同じような参加者となった。参加校別紙記載の通りで、その中でもっともレベルの高い大学が国家大学の人文社会大学だ。

(3) 本事業の成果

今回の日越学校交流ツアーは成功裏に終わったと思う。エールはベトナムの東大といわれるハノイ貿易大学との単位互換の話が進みそうだし、ホーチミンの国家大学である人文社会科学大学は1月の招待には応じてくれ、1月の招待校は2校で、3人が決まった。ハノイ貿易大学はどうしても単位互換まで進めるためには、上司を連れて行かないと決めにくいとのことであったので、了解することにした。

今回のツアーではエールだけではなく、理系のトップであるハノイ工科大学も参加していただき、清風工科学院が招待することになりそうで、できれば日本理工情報専門学校も招待の中に入りたいがとのことであった。その他の学校もそれなりのレベルの大学との話が進みそうなので、楽しみな状況である。その意味で今回は想像以上の成果が各校共に得られたのではないかなと思われる。

### 視察報告 [3. 大阪YWCA専門学校×4.修成建設専門学校] (報告 修成建設専門学校)

1. 学校名：大阪YWCA専門学校、修成建設専門学校 (連携視察)  
視察担当者：大阪YWCA専門学校 白川/修成建設専門学校 山下

#### 2. スケジュール

- ①視察日程 11/25-28  
②セミナー 11/25 ハノイ・セミナー/11/27 ホーチミン・セミナー  
③視察スケジュール (ハノイ) →参加 (以下の通り)  
④視察スケジュール (ホーチミン) →参加 (以下の通り)  
⑤教育機関施設訪問先

ハノイ	学校名	区分	設立	学生数
11/25 14:00	タンロン短期大学	私立	2008年	1,000
11/26 10:00	第一建設短期大学	国立	1958年	5,000
11/26 13:30	ドンドー私立大学	私立	1994年	1,000
11/26 15:30	建設大学	国立	1996年	31,000

ホーチミン	学校名	区分	設立	学生数
11/27 15:30	レ・クイ・ドン高校	国立	1875年	1,300
11/28 10:00	ホーチミン技術師範大学	国立	1962年	30,000
11/28 14:00	ドンズー日本語学院	私立	1991年	5,000
11/28 16:00	KAIZEN YOSHIDA SCHOOL	私立	2006年	1,200

3. 視察報告  
以下別途添付。

現在、日本語学校には多くのASEAN諸国からの留学生が来日しているが、円滑に専修学校へ進学できる状況にない。要因として多くの課題を未解決のままに進めているからである。

- ①現地教育機関の日本留学の情報不足
- ②留学斡旋会社などによる無秩序な送り出し
- ③非漢字圏、多国籍留学生の日本生活の不適応・日本語習得の未達成などが具体的問題としてあげられる。

日本企業は、海外進出、特に近年ではASEAN諸国への進出により多国籍な人材を求めており、専修学校としてこのニーズにこたえるためにも前述のような課題を早期に解決していく必要がある。

そのために具体的に以下、事業を推進して、日本の専修学校の職業教育の内容、進学の条件、日本就職の条件などの重要な留学情報を現地教育機関に周知し、理解を得る必要がある。

- 1) 現地教育機関との交流を実施  
⇒2014年11月24日～11月29日 ベトナム ハノイ ホーチミンに教育視察として訪問
- 2) 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入れ  
⇒2015年1月27日～1月31日 ベトナム教育機関が日本に来日

#### ベトナム社会主義共和国



ベトナム社会主義共和国(ベトナムしゃかいしゆぎきょうわこく)、通称ベトナムは、東アジア・東南アジアのインドシナ半島東部に位置する社会主義共和国国家。国土は南北に長く、北に中華人民共和国と、西にラオス、カンボジアと国境を接し、東は南シナ海に面し、フィリピンと対する。首都はハノイ。

政体は社会主義共和制。ベトナムの統治体制は、ベトナム共産党による一党独裁制度である。ベトナム共産党の最高職である党中央委員会書記長、国家元首である国家主席、首相の3人を中心とした集団指導体制であり、現在の党書記長はグエン・フー・チオン、国家主席はチュオン・タン・サンであり、首相はグエン・タン・ズンが務める。

IMFの統計によると、2013年のベトナムのGDPは1,706億ドル、一人当たりのGDPは1,901ドルであり、世界平均の20%に満たない水準である。2011年にアジア開発銀行が公表した資料によると、1日2ドル未満で暮らす貧困層は、3333万人と推定されており、国民のおよそ40%を占めている。政府開発援助と外国投資が経済を牽引している。世界金融危機で一時失速した国内総生産(GDP)の成長率も、2007年8.5%、2008年6.3%、2009年5.3%、2010年6.8%と安定成長が続いている。一方インフレ率も11.8%(2010年)と高い。人件費は中国のおよそ6割であり、政府も自国の売り込みを積極的に行っているが、輸送網が良いとは言えず(1988年の中国と同程度。但し、中国も2010年現在、沿岸部では賃金が高騰しているため、輸送網の悪い内陸部に工場を移さざるを得なくなっている)。また、法律もアバウトである。こうした点から、衣料品など、低付加価値製品の生産が2010年現在に至るまで主になっているベトナムであるが、サムスン電子とキヤノンは、莫大な資金を投じてベトナムで電子機器の生産・サービス拠点の建設を進めており、ベトナムが中国に次ぐ「世界の工場」の座を射止めることができるかが世界の企業家から注目されている。

日本円で約20兆円のGDPとなり、日本で言えば、H23 埼玉県と同等。



教育機関視察

タンロン短期大学（ハノイ）



Tổ 45, Thị Trấn Đông Anh, Hà Nội  
(読み方: チーム45, ドンアイン, ハノイ)

設立	2008年(設立6年)	海外提携 経験	なし
生徒数	1000人 (建設学部:150人)	提携希望 学部	建設学部・日本語
学部	日本語・建設・農業	提携希望 内容	・教材共有・教師能力アップグレード ・学生交流(ベトナム→日本、日本→ベトナム) ・他の建設短大の学生を募集して留学の紹介
特色	短いコース(3~6か月) 2年コースもあり	商談相手	副校長 NGUYEN CANH CHINH

2014年11月25日 14:00~訪問  
副校長、教育部部長、溶接部長、建設部長  
学生募集センター、理部長

場所は ハノイ中心から15km(新しい交通手段で10km)  
建設学科 溶接学科 農業学科  
技能実習生にも取り組んでいる  
1クラス30人 学校スペース7500平米

提携について  
タンロン短期大学経由もしくは別ルートで日本に留学するルートを作ることができる。その代わりに現地で事務局を設置して欲しいというオーダーあった。  
事務局設置で人員を常駐させるのは現状難しい旨伝える。また、送り込む人材を全てお任せも出来ない状態なので、細かいところは今後詰めてこうとした。  
※校長=総帥 であり、ベトナム共産党 青年部の偉いさんみたいである。

〈今後について〉  
交渉時は現地、初訪問で感銘がつかみとりにくい所があったが、他の教育機関も視察した結果、この大学と提携を行うのは、時期尚早だと考える。理由としては、留学生として送り出す人材のレベルが高くないと予測でき、結果大量に受入れできるかもしれないが、日本での教育に混乱をきたす恐れがある。



教育機関視察

第一建設短期大学（ハノイ）



đường Trung Văn - phường Trung Văn - quận Nam Từ Liêm - TP. Hà Nội  
 ( 駅: ストリートモデルオフィス - 中央区役所 - 南部地区リーム - TP. ハノイ )

設立	1958年(設立56年)	海外提携 経験	なし
生徒数	5000人	提携希望 学部	建設学部
学部	建設管理学部 建設学部	提携希望 内容	教育の提携
特色	建設系学科の 教育専門学校	高談相手	NGUYEN MINH LAM 連続教育センター 副社長

2014年11月26日10:00～  
副学長、センター長

国立短期大学。ハノイでは、NO1の建設系短期大学であると説明を受ける。  
技能実習生の送り出しも一部行っている。ドイツなどにも送り出している。

留学送り出しの提案だが、こちらから単位互換などの話をする。  
1年次はベトナム、2年次は日本で日本語を学び、その後2年間で修成で学んだのちに日本  
企業に就職する。  
先方の反応として、カリキュラムなど精査する必要があるため、センター長とメールなどでや  
り取りを行うとして終了した。

〈今後について〉

建設系の国立短期大学であるが、実際教育しているレベルは高くないと推測される。  
タンロン短期大学同様に、交渉のプライオリティーは高く持つ必要がないと考える。





教育機関視察

ドンドー私立大学（ハノイ）

Số 170 Phạm Văn Đồng, Q. Cầu Giấy, Hà Nội.  
( 設: 170ファムヴァンドン、カウジアイ地区、ハノイ )



設立	1994年(設立20年)	海外提携 経験	
生徒数	1000人	提携希望 学部	日本語学科、経営学科、 建築学部、(観光学部)
学部	日本語学科・英語学科 経営学部・建築学部 観光学部	提携希望 内容	2+1, 2+2, 4+0など教育提携 一度話し合いをしてから「どのよう に提携するか決める。
特色		商談相手	営業部長 Ms Vu Thi Giang

2014年11月26日1400～  
学長、その他

私立大学。訪問したのは、第2キャンパスであるが、間口がせまく、お世辞にもあまり大きい  
大学とは言えない。

以前日本語の専攻学科があり、いったん休部にしていた。最近の傾向を鑑み、再度日本語  
学科を復活させている。在学中にN2レベルまで到達されると説明を受けたが、信憑性が薄  
い。

〈今後について〉

別訪問を行ったエール学園からも、日本語の教育に関しては信憑性に欠けるという情報を  
もらう。提携に値しない教育機関だと考える。



教育機関視察

建設大学（ハノイ）

ベトナム語表記: Đại học xây dựng  
National University of Civil Engineering

Đại học Xây Dựng, 55 Giải phóng, Hà Nội  
( 駅:55ジャイフォン通り、ハイバチュン区、ハノイ市)

設立	1966年(設立48年)	海外提携 経験	
生徒数	31000人	提携希望 学部	建築学部・構造学部・IT学部・ 水上工事学部・建設機械学部・ 経済建設管理学部・進学院・ 建設材料学部・環境技術学部
学部	建築学部・構造学部・IT学部・ 水上工事学部・建設機械学部・ 経済建設管理学部・進学院・ 建設材料学部・環境技術学部	提携希望 内容	予備大学(予備校?)、 もしくは進学教育の提携を希望。
特色	大規模な大学。 本校は多様な学科があり、教育の質が 高い大学です。ベトナムの新しい技術 の研究・開発・発掘などの中心です。	商談相手	日越土木技術者交流推進センター長 NGUYEN HOANG GIANG

2014年11月26日 15:30～  
日越土木技術者交流推進センター長、他1名

ハノイでは、国立建設系の大学として約3万人の在校生がいる。  
5年制の大学であり、その上に大学院もある。  
センター長は、日本に留学経験もあり(埼玉大学に留学しており、日本のベトナム人学生の留学生会の副会長でもあった。)  
キャンパスはホーチミン市内中心部にあり広く、また別場所で大敷地として第2キャンパスを持っている。  
2,3年前までは、就職も良かったが、最近は苦戦している。センター長は、学生に日系企業に就職してほしいとして、積極的に日系企業とコラボレーションしている。(具体的には、清水建設、IHなどと200名ほどの合弁会社を設立したり、清水建設は学内でオープンセミナーなどを実施している)  
現在、伝もあってか、日本の大学院と具体的な教育提携を結ぼうとしており、埼玉大学などが名乗りを上げています。欧米の大学ではすでに実施している。  
修成には、キャンパスの一部を貸すので、具体的には日系企業に就職できるカリキュラムを開発して欲しい、  
という要望がある。

〈今後について〉  
大学のレベルを再確認する必要がある。(G.A.に問い合わせ確認中)  
先方通りのレベルであれば、日本でいう東京工業大学あたりになるので、ハイレベルであり、継続的な関係性を気づいていくほうが得策だと考える。  
数名の授業料の減額・無償などの奨学金制度を設けるなどして、優秀な学生を育成していくことも選択肢とできるかもしれない。



教育機関視察

レ・クイ・ドン高校（ホーチミン）

ベトナム語表記: TRƯỜNG THPT LÊ QUÝ ĐỒN

110 - Nguyễn Thị Minh Khai - Phường 6 - Quận 3 - Tp Hồ Chí Minh  
 ( 駅: 110 - グエンミンカイ通り - ウォード6 - 3区 - ホーチミン)

設立	1875年(設立139年)	海外提携経験	なし
生徒数	日本語の(?) 生徒数1000人	提携希望学部	日本語学部
学部	日本語	提携希望内容	日本での留学生活
特色	高校レベルの教育	商談相手	日本語教師 PHAM HUYNH ANH VIET

2014年11月27日 15:00～  
 日本語教師 ヴィエット先生

140年のホーチミンの中では1番歴史のある高校  
 3年制で生徒数は1000名 全部で45クラスある中で日本語専攻のクラスは3クラスある 約100名  
 学費は月謝で50ドルくらいとホーチミンの内では高めの設定

近年、国の教育プログラムなどで在学中に短期の日本研修を実施している。10～20名程日本留学 全体では欧米を含めると200名くらいは留学をしている。(交換留学など含む)  
 日本語専攻クラスでは、N5・N4は3年間で習得できるようにするが、中にはN2取得者もいる。  
 日本留学のルートはアークアカデミー経由でAPUIに行っているものが多い。

担当の先生は日本の専門学校情報が少ないという事で、今後の情報あれば生徒に発信したいとの事。

<今後について>  
 大阪YWCA 白川先生が1月の招へいを案内  
 →先生のスケジュール的に問題なさそうなので、来るだろう。





教育機関視察

ホーチミン技術師範大学（ホーチミン）

1 Võ Văn Ngân, Quận Thủ Đức, Thành Phố Hồ Chí Minh,  
(01 Võ Văn Ngân通り Linh Chiểu丁目 Thủ Đức区ホーチミン市)



TRƯỜNG ĐẠI HỌC  
SƯ PHẠM KỸ THUẬT TP. HỒ CHÍ MINH  
HCMC University of Technology and Education

設立	1962年(設立52年)	海外提携 経緯	
生徒数	1000人	提携希望 学部	部品・電気電子、建設、 インフォメーションサイエンス
学部	部品・電気電子、建設、 インフォメーションサイエンス など15学部	提携希望 内容	専門学校、短期大学、大学 との提携希望
特色	技術	商談相手	①Tran Thu He-Vjaoセンター社長 ②Nguyen Thi Thanh Thuy-Vjaoセン ターの対外の課長

2014年11月28日 10:00～  
副学長、越日就職トレーニングセンター ハ所長、その他

ホーチミン市にある理工系大学ではNo2の大学。(No1はホーチミン工科大学であり、G.A 確認済み)  
大学だけでなく、短期大学、専門学校などの機関をもっており、2年～4年で学ぶことができる。  
理工系に即した15の学部を有しており、約3万人の学生数である。毎年600人ほどが教師として進路を決定している。  
教育提携については、先方から前向き且つ具体的に提示があった。  
2+2の教育提携であり、後半2年を修成で行った場合、学生に学位を授与できるかどうか？の質問があった。  
日本語教育については、日本語教師も紹介してもらったが、ベトナム現地の方であり、まだまだな印象がある。  
ただし、別学科で日系企業経営者(ゲーム会社 里村さん)と提携して、教育活動を行っており、今回訪問した大学のなかで、具体的に日本と提携している内容を垣間見えた。

<今後について>  
1月後半の日本招へいを打診。その場では快諾もらったので具体的な提携内容をそれまでに詰めていきたい。提携内容は、先方案の2+2の変形ver.で行えないか模索する。課題事項は、日本語の教育が現地2年間では、絶対に向上しない点だと考える。変則的ではあるが、1.5(ベトナム現地)+1(YWCA)+2(修成)の計4.5年で、修成から専門士、ホーチミン技術師範大学から学士(現地の大学卒業資格)を授与できるダブル学位がとれないか？を検討する。



教育機関視察

ベトナム語表記: Trường Nhật Ngữ Đông Du

### ドンズー日本語学院 (ホーチミン)

275, Điện Biên Phủ, Phường 7, Quận 3, Thành phố Hồ Chí Minh

設立	1991年	海外提携 経験	
生徒数	5000人	提携希望 学部	
学部		提携希望 内容	
特色		商談相手	校長秘書 伊藤先生

2014年11月28日 14:00～  
ホーエ校長、伊藤校長秘書

既に学費の減額に関する提携を行っている。  
ホーエ校長にアポイントをもらっていたが、他商談が長引いており、校長秘書の伊藤先生が応対してくれた。  
ベトナム現地での日本語教育熱は高くなっており、8年ほど前が、約3万人ほどの学習者に対して、今は8万人ほどいるのではないかと語ってくれた。大きく増えた要因は、技能実習生枠が拡大したことであるが、ドンズーではその教育を行っていない。

<今後について>

ドンズー日本語学院では、初級・中級・上級といろいろなクラス・コースはあるが、ほとんどがN2レベルまで到達しない。結果、日本に留学してもほとんどが、日本語学校などを経由しないといけない。

KAIZEN YOSHIDA SCHOOL (ホーチミン)

40/12 - 40/14 Ấp Bắc, Phường 13, Quận Tân Bình, Thành phố Hồ Chí Minh  
( 原:ホーチミン市)

設立	2006年(設立8年)	海外提携 経験	
生徒数	1200人	提携希望 学部	
学部		提携希望 内容	
特色		商談相手	社長秘書 里村さん

2014年11月28日 15:00～  
社長秘書 里村さん

日本にて、S2(エスハイ担当者)と副校長が面識がある。  
基本的に技能実習生の日本語教育として、KAIZEN YOSHIDA SCHOOLがあり、日本側企業・組合との折衝をS2(エスハイ)が行っている。  
市内の中心地というわけではないが、日本語学校として利用している校舎は、壮麗であった。JICAから資金を借りて建てたビルであり、日本政府とも深い関わりが見受けられる。  
技能実習生だけでなく、ワンランク上の技術者育成・紹介も行っている。もともとが機械系に特化したところがあったが、昨今、建設系の需要が増えてきており、そちらの分野にも力を入れたいとのこと。  
授業見学を行ったが、非常に統制がとれた教育を行っている。(具体的には、技能実習後の職場を意識して、立ったまま授業をする教室などもあった。)  
先方の要望としては、ニーズがある建設系の技術者養成について、協力できないか?というものであり、可能なら日本の企業や組合から資金をだしあってもらい、学校を設立することも構想するとしている。

<今後について>

見極めが必要。技能実習生を教育する、送り出しを行なうといったノウハウは、他日本語センターに比べて非常に長けていると感じる。パンフレットでは、通常3ヶ月～6ヶ月の日本語教育を1年間行っている(技術者養成では、15ヶ月)としているが、事実なのか?確認・リサーチする必要がある。  
そのうえで信頼できる機関であれば、両校にとってメリットある提携話など具体的に進めていくことも、十分考えられる。

<総括>

今回のベトナムのハノイ・ホーチミン視察は、価値あるものだったと考えます。

特に現地に行ってわかったことは、日本企業への就職を熱望する方が多いです。上位レベルの大学だけでなく、技能実習生の送り出しを積極的に行っている日本語センターや短期大学など、形は違えど、ニーズの高さは想像以上でした。

ただし、そこには大きな問題点が潜んでいると考えます。

各教育機関が日本語の語学習得を軽視している点です。

これは、大学に傾向が強く、現地TOP大学であるハノイの建設大学でも、大学院に日本留学させるうえで、日本語でなく英語のみを習得していれば十分に事足りるという考えであり、他大学でも日本人の日本語教員ではなく、ベトナム現地の方が、教えているという状況です。日本語教員については、現地で圧倒的に不足しており、給与面で厚遇な技能実習生を扱っている日本語センターに集まる傾向があると推測します。

結果、十分な日本語の語学力が整っていない状態での日本留学が、今国内で問題になっている本来、日本語学校を修了して、高等教育機関に進学しなければならないベトナム人の進学受け入れ先がないという状況につながっていると考えます。

本校の場合、建設に関わる技術者を育成する、また日本企業に就職させるという大命題は、享受できるノウハウはありますが、そのベースになってくるとは、やはり語学力であり、日本式コミュニケーションです。

現地教育機関との教育提携は、修成のグローバル展開で必要不可欠だと考えます。そのためには、語学力・日本式コミュニケーションの基礎ベースが高い学生を受け入れるまたは、教育していく必要があります。そういった意味でもレベルの高い教育機関である上位大学との提携を検討していく必要があると考えます。

具体的には、視察したホーチミン技術師範大学などは、上位大学として該当します。そういった大学と語学力向上のカリキュラムを、大阪YWCAなどとともに開発していく必要があります。そうすることでケースは、他のASEAN諸国の教育機関とも、横展開で提携を結べる可能性があります。12月内でカリキュラムの雛形を構想します。

最後に、ベトナムは、GDP・人口・人口密度など見る限りでは、決してマーケットが大きい訳ではありません。ただ、平均年齢が28歳(日本が45歳)ということを見ると、これからの成長する伸びしろが十分に期待できます。また、親日という文化も大きなプラス要素です。

近々の動きとして、ホーチミン市技術師範大学と具体的な教育提携を形にしていくことが、重先決だと考えます。

経営戦略室 室長  
山下 裕貴

## 視察報告〔5.清風情報工科学院〕

1. 学校名：清風情報工科学院

2. スケジュール

①現地交流会

11/25 ハノイ・セミナー／11/27 ホーチミン・セミナー

②視察スケジュール（ハノイ）

11/25 エイコー日本語センター

11/26 ハノイ工業大学、ハノイ工科大学、ハノイ工科短期大学

③視察スケジュール（ホーチミン）

11/28 FPT大学、ホーチミン市情報通信短期大学、ひかり日本語学校

3. 視察報告

エイコー日本語センター、ハノイ工業大学、ハノイ工科大学、ハノイ工科短期大学  
FPT大学、ホーチミン市情報通信短期大学、ひかり日本語学校

1) エイコー日本語センター

①視察先教育機関名：エイコー日本語センター

②視察先教育機関の概要：

日本で「栄光ゼミナール」として全国展開（400教室、生徒7万人）の経営をされている大手学習塾のハノイ校。2011年7月開設。ハノイ校では、日本語教育（企業向け日本語研修、一般日本語研修）、外国人向けベトナム語教育、翻訳・通訳サービス、2013年にはベトナム人の子供向け学習塾も開始。

③日程：2014年11月25日

④視察結果

・視察校との連携の可能性有無：

日本への留学生送り出しは行っていないということで、現状の提携の可能性は少ないと思われる。

・感想等

日本の学習塾企業を母体とした日本語学校で、ベトナム人以上に日本人のビジネスマン家庭に信頼が大きい。ベトナムでの日系企業への現地スタッフに対する日本語教育受託など、日系企業との繋がりが多く、当校としてもこうした事業のあり方について学ぶべきところが多い。



※写真は、栄光ハノイのフェイスブックからの引用

## 2) ハノイ工業大学

①視察先教育機関名：ハノイ工業大学

②視察先教育機関の概要：

ハノイにある工業系の総合大学。1700人以上の役職員を擁し、大学院レベル（修士、博士）も含めて1451人の教師・講師を揃える。大学は約50ヘクタールの総面積を持つ3つのキャンパスを持ち、学生総数は40,000人を越える。人材の送り出し等は、ハノイ工業大学人材養成派遣有限会社(LETCO)が窓口となっている。

③日程：2014年11月26日

④視察結果

・視察校との連携の可能性有無：

すでにLETCOとの人材送り出しの連携はあり、これまでに数名の学生送り出しを実現してきた。

・感想等

すでに関係のある学校なので、今回の訪問についてはご挨拶が主なる目的であった。ハノイ工業大学自体は、キャンパスの拡張など、今後も学生数は増えていく模様で、当校としてもさらなる連携強化を行っていきたい。



※現地にて撮影



### 3) ハノイ工科大学

①視察先教育機関名：ハノイ工科大学

②視察先教育機関の概要：

1956年に設立されたベトナム国における工業系の総合大学としてトップクラスの学校。約40,000人の学生は、国内トップレベルの教授陣から指導を受け、卒業後は国の行政機関、研究所、さらには国内外の大手企業で活躍している。

③日程：2014年11月26日

④視察結果

・視察校との連携の可能性有無

ハノイ工科大学では、すでに日本における数校の国公立大学とコンソーシアムプログラムを行っており、これを經由して毎年学生が日本の大学に編入している。また、大学内に日本語センターがあり、日本人の日本語講師も数人在籍。活発な日本語教育がすでに実施されている。この点から、当校においては後手となり、ハノイ工科大学との提携等の可能性は少ないと思われる。

・感想等

広々とした広大な大学であった。通り過ぎる学生たちも真面目で知性的な雰囲気を感じさせた。



※インターネットから抜粋



#### 4) ハノイ工科短期大学

①視察先教育機関名：ハノイ工科短期大学

②視察先教育機関の概要：

ハノイ工科短期大学は、ハノイ工科大学の付属校として2009年4月に設立された職業教育のための短期大学。電子、情報、機械、電気に加え、経営・管理の5学科によって構成される。ハノイ工科大学がアカデミックであるのに対して、ハノイ工科短期大学はプラクティカルな立場をとる。

③日程：2014年11月26日

④視察結果

・視察校との連携の可能性有無：

現時点で日本の学校との提携等はないということで、当校との提携の可能性が高いと判断。

・感想等

日本においては技術・工業系の専門学校的位置づけに近いものと思われる。ハノイ工科大学のリソース（一部の講師、情報、環境）を利用できる点で、恵まれている。



※現地にて撮影（中央が副学長）

## 5) FPT大学

①視察先教育機関名：FPT 大学

②視察先教育機関の概要：

FPT 大学は、ベトナム最大の IT 企業であり、当社のベトナムにおける投資ファンドの設立・運営に関するパートナーでもある FPT グループが国際レベルの IT 技術者育成を目的に 2007 年 1 月に創立した大学。また、ベトナムにおいて企業が設立した大学として初めて認可を受けた。学生数は約 15000 人。

③日程：2014 年 11 月 28 日

④視察結果

・視察校との連携の可能性有無

もともと日系の企業およびファンドが設立した学校であり、学内での日本語教育の充実や日系企業との連携はすでに図られている。当校としては、留学生の受入れよりも、ベトナムに根ざした初の日系情報系学校設立という偉業を成し遂げられていることそのものから多くを学ばせていただくという主旨で、今後ともに情報交流をさせていただくことをお願いした。

・感想等

立派な大学であった。設備も充実しており、学生のがびのびしている感がある。いろいろと学ばせていただきたい。



※インターネットから抜粋

## 6) ホーチミン市情報通信短期大学

①視察先教育機関名：ホーチミン市情報通信短期大学

②視察先教育機関の概要：

2001年にホーチミン市に設立された情報通信系の技術、さらには経営学・会計学を学ぶ短期大学。日本の学校との提携などはまだない。

③日程：2014年11月28日

④視察結果：

・視察校との連携の可能性有無

日本の学校との提携などはまだないが、そもそも日系企業就職へのキャリア指導等はまだ初期の段階である。提携の可能性はあると考えるが、もう少し時間が必要か。

・感想等

学長、ご担当者含め、本当に良心的にご対応いただき、感謝申し上げたい。



※現地にて撮影（中央が学長）

## 7) ひかり日本語学校

①視察先教育機関名：ひかり日本語学校

②視察先教育機関の概要：

ホーチミン市に本拠を置く、日本語教育を行う私塾学校である。ホーチミン市、ドンナイ省に6つの学校を持ち、学生総数は1800人ほど。技能実習生の送り出し機関としても稼働しており、日本人の講師が全校で計15人ほど在籍している。

③日程：2014年11月28日

④視察結果：

・視察校との連携の可能性有無

提携においての可能性はあるが、これまでの業務の大半が技能実習生の送り出しと、ベトナム人への日本語教育の塾、また日系企業でのベトナム人日本語教育であるため、留学プログラムはボリュームが少なく、まだ初期段階であろうと思われる。

・感想等

街中にあり通いやすく、教室等も整備されていて、集客は成功していると思われる。今後の留学プログラム発展の中で、ぜひともジョイントしていきたいと感じた。



※写真はインターネットから

## 視察報告〔6.瓶井学園〕

1. 学校名：学校法人 瓶井学園

2. スケジュール

①現地交流会

11/25 ハノイ・セミナー／11/27 ホーチミン・セミナー

②視察スケジュール（ハノイ）

11/25 タンロン大学、ZEN 日本語学校

11/26 PLC日本語センター、FPT大学

③視察スケジュール（ホーチミン）

11/27 TERAKOYA日本語学校、カオタン技術短期大学

11/28 ラクホン大学、サイゴン情報技術専門学校

3. 視察報告

1) タンロン大学

①視察先教育機関名：タンロン大学

②視察先教育機関の概要

5 学部(情報処理、経済経営、外国語、健康科学、人文科学)、17 学科。  
現在の生徒数は約 10,000 名。

③日程:2014 年 12 月 25 日に訪問

④視察結果

提携に際して、お互いの学校のカリキュラムを確認し、単位互換をどのように持たせるかが重要と感じました。



## 2) ZEN日本語学校

①視察先教育機関名：ZEN日本語学校

②視察先教育機関の概要

基本から上級までの日本語教育、専門分野における日本語教育、日系企業への日本語教師の派遣、日本語の翻訳・通訳サービス、日本語ガイド、ベトナム市場調査サポート、ベトナム語教育サービス、日本留学サポートサービス、国内人材派遣、在ベトナム外国人への総合サポートサービス。

③日程:2014年11月25日に訪問

④視察結果

同校とは数年前に訪問し、提携書も交わしております。  
ベトナムの現状を踏まえ、電気技師の勉強が将来のベトナムに役立つと助言したところ、学生へ話をしてみると仰って下さいました。今後も良好な関係が築けるようにお互いの学校の意見交換を行いました。

## 3) PLC日本語センター

①視察先教育機関名：PLC日本語センター (Pacific Language Center)

②視察先教育機関の概要

日本の神野学園(愛知県名古屋市)とベトナム企業とのジョイント学校。

学校の特徴としまして

1. 日本人の先生が多い(教員の内60%)
2. ベトナム人スタッフの日本語レベルが高い(ほとんどのスタッフがN1取得)
3. 神野学園グループ(提携校：岐阜医療科学大学、中日本自動車短期大学、中日本航空専門学校)への留学

③日程:2014年11月26日に訪問

④視察結果

当校と重なる学科があり、提携に関しては難しいと感じました。  
現地で質の高い環境を提供している印象で、立地を含め他校との差別化を図った戦略は参考になりました。





#### 4) FPT大学

①視察先教育機関名：FPT大学

②視察先教育機関の概要

生徒数は約15,000名。海外に拠点がある事もあり、言語学科以外は基本授業は英語で全て行われ、大学3年時には企業への実務研修もカリキュラムに組み込まれている。

③日程：2014年12月26日に訪問

④視察結果

お互いの学校のカリキュラムを確認し、単位互換をどのように持たせるかが重要と感じました。



#### 5) TERAKOYA日本語学校

①視察先教育機関名：TERAKOYA日本語学校

②視察先教育機関の概要

設立間もない日本語学校。ホーチミンのほぼ中心にあり、立地は良好。

③日程：2014年11月27日に訪問

④視察結果

当校の学校特徴、学生優遇制度、学生寮、生活サポート等についてお話し、ベトナム学生の求める学校、学生の日本留学に対する期待点と不安点、申請書類等について意見交換をしました。提携については、概ね合意しており、帰国後両校の意見を踏まえ協定書を作成し、調印頂きました。



## 6) カオタン技術短期大学

①視察先教育機関名：カオタン技術短期大学

②視察先教育機関の概要

創立 108 年目を迎える学校。切削、溶接、自動車他 合計 10 学科が存在。

③日程：2014 年 11 月 27 日に訪問

④視察結果

お互いの学校の特徴とベトナム学生の求める技術について意見交換しております。

その中で同短期大学では日本語学科が存在せず、当校の専門課程では日本語のみで授業である事より提携には時間が掛かりそうと感じております。

日本語をある程度ベトナムで学んだ上で当校の日本語学科で指導を行い、その上で専門授業を受けられる流れで当校より提案しております。

## 7) ラクホン大学

①視察先教育機関名：ラクホン大学

②視察先教育機関の概要

1997年にドンナイ省に設立された私立大学。現在、日本語学科生徒数 300 名。

③日程：2014 年 12 月 28 日に訪問

④視察結果

お互いの学校のカリキュラムを確認し、単位互換をどのように持たせるかが重要と感じました。



## 8) サイゴン情報技術専門学校

①視察先教育機関名：サイゴン情報技術専門学校

②視察先教育機関の概要

設立は1997年。学生数は約3000人。

③日程：2014年11月28日に訪問

④視察結果

お互いの学校の特徴とベトナム学生の求める技術について意見交換しております。

その中で同専門学校では日本語学科が存在せず、当校の専門課程では日本語のみで授業である事より提携には時間が掛かりそうと感じております。

日本語をある程度ベトナムで学んだ上で当校の日本語学科で指導を行い、その上で専門授業を受ける流れで当校より提案しております。

## 2-B. 現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入

### 1. 目的・ねらい等

ベトナムでの交流事業において交流した大学・短期大学・高校・日本語学校の担当者を日本へ招へいし、大阪の専修学校の視察受け入れを行う。この視察において専修学校の現状、日本留学の受入の現状（生活環境）、専修学校留学生採用企業など実態を把握していただき、現地交流で討議した課題解決（円滑な送り出しと受け入れの共同努力）の具体的な方策を策定し、強固なネットワークと送り出しの拠点の整備を推進する。特に専門学校における職業教育の質の高さを理解してもらい、また地域企業が必要としている外国人人材についても理解をしていただく。具体的には学校視察、企業視察、企業関係者・学校関係者とのセミナーと意見交換会を実施し、2-A. の事業と連動して、最終的に具体的な相互協力の方策を策定・提言し、現地事前教育の強化から順調に専修学校へ留学することによりベトナム人材の日本就職を促進する道筋を確立する。

### 2. 関連して行った事業名

2-A. 現地教育機関との交流会の実施

### 3. 実施結果

(1) 日程：ベトナム教育機関招へい 平成27年1月27日(火)～31日(土)

- 1月27日(火) 視察団来日→歓迎セレモニー
- 1月28日(水) 専門学校視察
- 1月29日(木) 企業見学
- 1月30日(金) 商業施設視察

(2) 来日メンバー（高等教育機関7団体、高校1団体）

- ①ハノイ貿易大学 TRAN THI THU THUY チャン ティ トゥ トゥイ氏（日本語学部 副学部長）
- ②ハノイ大学 TRAN THI CHUNG TOAN チャン ティ チュン トゥアン氏（日本語学科 学科長）
- ③ハノイ工科短期大学 HOANG XUAN LAN ホン スワン ラン氏（BACH KHOA ホルディングス 国際協力部長）
- ④ホーチミン市人文社会科学大学 HUYNH TRONG HIEN ゲン チョン ヒエン氏（日本語学部 副学部長）
- ⑤ホンバン国際大学 NGUYEN MINH TRUC SON グエン ミン チュック ソン氏（美術学部アニメ学科長）
- ⑥ラクホン大学 NGUYEN THI NHU THUONG グエン ティヌ トン氏（日本語学科部門長）
- ⑦ホーチミン技術師範大学 TRAN THU HA チャン トゥ ハ氏（越日就職トレーニングセンター所長）
- ⑧レ・クイ・ドン高校 PHAM HUYNH ANH VIET ファン グエン アン ヴィエット氏（日本語教師）

(3) 事業担当校（6団体、10校）

- ①上田学園（上田安子服飾専門学校／大阪総合デザイン専門学校／大阪エンタテインメントデザイン専門学校）
- ②エール学園
- ③大阪YWCA専門学校
- ④修成建設専門学校
- ⑤清風情報工科学院
- ⑥瓶井学園（日本コンピュータ専門学校／日本メディカル福祉専門学校／日本理工情報専門学校）

#### (4) 実施内容

##### 1) 「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための日本招へいと視察受入」歓迎セレモニー

①日時：平成27年1月27日（火）

②会場：ホテルイルクオーレなんば

③セレモニー参加人数：56名

内訳（詳細別紙）：ベトナム教育機関8名/領事館2名/行政・各種団体6名/企業14名/  
日本の教育機関20名/ベトナム人留学生2名/関係者・事務局4名

##### ④プログラム

セレモニープログラム	
セレモニー開会	司会者開会のことば
<1. 主催者あいさつ>	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長 長谷川 恵一
<2. 主賓ごあいさつ>	在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 総領事 チャン・ドゥック・ビン 氏
<3. 来賓ごあいさつ>	大阪府 国際交流監 中井 勝雅 氏
<4. ベトナム教育機関来賓者ご紹介>	司会者より紹介 ハノイ貿易大学/ハノイ大学/ハノイ工科短期大学/人文社会科学大学/ ホンバン国際大学/ラクホン大学/ホーチミン技術師範大学/レ・クイ・ドン高校
<5. その他来賓者ご紹介>	司会者より紹介 ・大阪府、大阪市、商工会議所、企業 ・担当校（上田学園、エール学園、大阪YWCA専門学校、瓶井学園、修成建設専門学校、清風情報工科学院） ・その他専門学校
<6. 来日視察スケジュール>	・司会者よりご紹介 ・視察スケジュール説明、視察先企業説明等

##### 2) 教育機関視察の実施

以下9校の専門学校の視察実施。各学校での視察交流内容は別紙参照。

###### ①上田学園（3校）

上田安子服飾専門学校/大阪総合デザイン専門学校/大阪エンタテインメントデザイン専門学校

###### ②エール学園

###### ③大阪YWCA専門学校

###### ④修成建設専門学校

###### ⑤清風情報工科学院

###### ⑥瓶井学園（3校）

日本コンピュータ専門学校/日本メディカル福祉専門学校/日本理工情報専門学校

### 3) 企業視察の実施

#### ①光洋機械産業株式会社 西脇工場（兵庫県西脇市上比延町 1339-1）

- ・挨拶、工場紹介、ベトナム工場説明 等
- ・西脇工場 構内見学
- ・質疑応答
- ・記念撮影

#### ②株式会社フジキン 大阪柏原事務所（大阪府柏原市円明町 1000-45）

- ・挨拶、事業所紹介等
- ・構内見学
- ・質疑応答、ベトナム国籍社員、研修生との懇談
- ・記念撮影

### 4. 当初目的の達成状況

当初の目的であった現地交流事業と連動して、ベトナムの高等教育機関と高校の合計8校の来日視察が実現した。セミナーにおいては、ベトナム領事館、行政、大阪商工会議を含めた団体、企業の参加で産官学が協働して受け入れ視察を実施していること、この日越交流が広いネットワークの中で実施されていることをベトナム側の参加校へ強く印象付けられた。また各教育機関の視察において実際の専門学校の教育内容を理解していただくことができ、今後の交流と提携について具体的に活発な討論がされたことは意義深い。また企業視察では、実際にベトナム人留学生のインターンシップを受け入れ、ベトナムに工場建設中の光洋機械産業（株）、すでに早くからベトナム進出を果たし、ベトナム人の技術者を採用している（株）フジキンを視察しました。今回視察に参加したベトナムの教育機関に日本企業が求める人材像を知ってもらうことができ、実際に働いているベトナム人技術者との交流などを通して日本企業への就職のモデルケースを知ってもらうことができた。

### 5. 成果

2-A 事業と連携して一連の事業として実施した「専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備」は、ネットワークの構築と拠点整備の具体的な効果的な在り方を示せたと考えている。すなわち現地での学校交流のセミナーの実施→現地の学校視察と協力の討論→日本側への招へい→日本でセミナーの実施→学校視察・企業視察と交流と提携の討論という道筋である。この交流事業を成果物につなげるには今回の交流を具体的な双方の提携と留学生送り出しまでの実績を作り、これをモデルとして広く広げることである。また本事業で、ベトナム教育機関に日本の専門学校における職業教育の質の高さやアカデミック教育と職業教育の複線型の教育への理解、複線型の留学交流を理解いただけたこと、日本企業就職において専門学校が果たしている役割について深く理解いただくことができた。このことは専門学校のプレゼンスの向上に役立ち、非常に意義深いものとなった。

### 6. 成果物

成果物としては上記の5. 成果に記載の通りである。今回の事業は成果として画期的な内容であるので、この成果を報告書として広く産官学へ啓発を実施した。

### 7. 次年度以降における課題・展開

「専門学校職業教育の理解促進に焦点を置いた海外とのネットワーク構築と拠点整備」は、今年度の事業でベトナムにおいてネットワーク構築の第一歩ができたが、これを拠点整備にまで高めるには、なお以下の継続的な取り組みが必要である。

- ①今回の交流の結果として実現している学校間交流、提携の協議として出てきている諸課題を両国の教育行政、産業界を巻き込んだ共通の課題として取り組み課題解決にあたること。その結果として実現した留学交流をモデルとして広く両国の教育機関に啓発すること。

- ②そのためにも、今年度事業を単年度の事業として終わらせることなく、次年度以降も継続し、また交流に参画する学校を広げること。継続した事業実施を経て、拠点整備の形・システムにまで仕上げること。
- ③中長期的にはこの交流事業をベトナムから広く他の国へ広げることが求められている。

## 8. 実施資料

### (1) セレモニープログラム

「ベトナム現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための日本招へいと視察受入」

Vietnam delegation welcome ceremony

January 27, 2015

honorific titles are omitted (敬称略)

	団体名	Organization name		
こ 来 賓	在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館	Consulate General of Viet Nam in Osaka- Japan	総領事	
	在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館	Consulate General of Viet Nam in Osaka- Japan	副領事	
	大阪府	Osaka prefectural Government	国際交流監	
	大阪府	Osaka prefectural Government	国際化戦略実行委員会より 計2名	
	大阪市	Osaka City	経済戦略局 立地推進部都市間交流担当課長	
	大阪商工会議所	The Osaka Chamber of Commerce and Industry	人材開発部 人材採用支援担当 計2名	
	光洋機械産業株式会社	KYC MACHINE INDUSTRY CO.,LTD.	計4名	
	株式会社ケイティエス	KYC TOTAL SERVICE CO.,LTD.	計1名	
	株式会社フジキン	Fujikin Incorporated	計9名	
ベ ト ナ ム 教 育 関 係 者	ハノイ貿易大学	FOREIGN TRADE UNIVERSITY	日本語学部 副学部長	
	ハノイ大学	HANOI UNIVERSITY	日本語学科 学科長	
	ハノイ工科短期大学	HANOI VOCATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY	BACH KHOA ホールディングス 国際協力部長	
	ホーチミン市人文社会科学大学	UNIVERSITY OF SOCIAL SCIENCES & HUMANITIES	日本語学部 副学部長	
	ホンバン国際大学	Hong Bang University International	美術学部アニメ学科長	
	ラクホン大学	LAC HONG University	日本学科部門長	
	ホーチミン技術師範大学	University of Technical Education HCMC	越日就職トレーニングセンター 所長	
	レ・クイ・ドン高校	Le Qiy Don High School	日本語教師	
専 門 学 校 関 係 者	学上田学園 上田安子服飾専門学校 大阪総合デザイン専門学校 大阪エンタテインメントデザイン専門学校	UEDA GAKUEN EDUCATIONAL CORPORATION UEDA COLLEGE OF FASHION Osaka Academy of Entertainment Design osaka sogo college of design	計2名	
	エール学園	EHLE Institute	計4名	
	大阪YWCA専門学校	Osaka YWCA College	計2名	
	学瓶井学園 日本理工情報専門学校 日本コンピュータ専門学校 日本メディカル福祉専門学校	KAMEI GAKUEN EDUCATIONAL CORPORATION Nihon Science and Information Technology College Nihon Computer College Nihon Medical Welfare professional training college	計2名	
	修成建設専門学校	Syusei Technical College	計4名	
	清風情報工科学院	SEIFU Institute of Information Technology	計3名	
	大阪工業技術専門学校	OSAKA COLLEGE OF TECHNOLOGY	計1名	
	学トラベルジャーナル学園 ホスピタリティ・ツーリズム専門学校大阪 大阪ブライダル専門学校	Travel Journal Educational Foundation Trajal Hospitality & Tourism College Osaka Bridal College	計1名	
	森ノ宮医療学園専門学校	Morinomiya college of medical arts and sciences	計1名	
	留 学 生	大阪工業技術専門学校	OSAKA COLLEGE OF TECHNOLOGY	ロボット・機械学科
		エール学園	EHLE Institute	国際ビジネス学科
関係者・事務局 等			計4名	
出席者 合計			56名	

(2) 写真



「現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための日本招へいと視察受入」 歓迎セレモニー  
(平成 27 年 1 月 27 日)



企業視察 ①光洋機械産業株式会社 西脇工場



企業視察 ②株式会社フジキン 大阪柏原事務所



(3) 視察受入専門学校別 報告書

視察受入校 報告 [1.上田学園]

1. 専門学校名：上田学園 大阪総合デザイン専門学校、大阪エンタテインメントデザイン専門学校
2. 視 察 者：ホンバン国際大学 美術学部アニメ学科長 NGUYEN MINH TRUC SON (グエン シン チュック ソン) 氏
3. 1月28日 視察行程

時 間	内 容	ねらい
9：30～10：00	学校説明（大阪総合デザイン専門学校）	
10：00～11：30	授業見学（漫画およびコミックアート学科）	
13：30～16：40	授業参加（大阪エンタテインメントデザイン専門学校キャラクターコンテンツ学科）	「アニメーション演習Ⅰ」に授業参加。
16：50～17：20	学校説明および見学	

4. 専門学校職業教育理解への成果
  - ・大阪総合デザイン専門学校では漫画学科（主にアナログ作業）とコミックアート学科（主にデジタル作業）の授業を見学。特にペンとインクで制作される漫画原稿に興味をひかれたようだ。
  - ・大阪エンタテインメントデザイン専門学校では、アニメーション監督杉井ギサブロー先生が担当する「アニメーション演習Ⅰ」に授業参加。以下はその授業内容。
    - 1) 「ピエロ」動画課題の講評。
    - 2). 過去の課題作品を参照して授業内容の説明。アニメーションの基礎となる「速度」「軌道」「変形」の解説。
    - 3) ソン先生が持参したベトナム学生のアニメーション作品を鑑賞し、意見交換等。  
※通訳の学生とは、アニメーション用語等について事前に打ち合わせをしていたため、授業をスムーズにすすめる事ができた。
5. 今後の展望と課題

漫画、アニメーション関係学科へのベトナム人留学生の受け入れ、ベトナムへの講師派遣または通信講座の発信等が考えられる。ただ、日本への留学費用の問題は大きい。講師派遣に関しても現役の講師を派遣するため、スケジュール調整や内容を精査し効率化を計る必要がある。

## 視察受入校 報告 [2.エール学園]

1. 専門学校名： エール学園

2. 視 察 者：

ハノイ貿易大学 日本語学部副学部長 TRAN THI THU THUY (チャン ティ トゥ トイ) 氏

ハノイ大学 日本語学科学科長 TRAN THI CHUNG TOAN (チャン ティ チュン トゥアン) 氏

ホーチミン市人文社会科学大学 日本語学部副学部長 HUYNH TRONG HIEN (グイン チョン ヒエン) 氏

3. 1月28日 視察行程

時 間	内 容	ねらい
8:00	イルクオーレお迎え	エール学園の学科の詳細説明を実施し、内容を理解してもらう。またベトナム人留学生と交流し実際の状況を理解してもらう。
8:10	エール2号館到着	
8:10	<b>訪問視察第1部 (学校説明、討議、学校施設見学)</b>	
	挨拶 長谷川理事長	
8:20	エール全体説明 萩原校長	
8:30	デュアルビジネスコース説明 木田本部長 NPO 法人ディープ・ビープル牧理事長・ゴク	
9:00	東大・京大・阪大コース説明 木村本部長・菅	
9:10	質疑応答とディスカッション	
11:00	留学生(リン)と交流	
11:15	学校施設見学 (2号館・1号館・3号館・女子寮・4号館)	
12:00	昼食・・・草月にて交流会	
12:50	企業訪問に出発	
13:30	<b>訪問視察第2部 (企業訪問)</b>	
	株式会社中央電機計器製作所 到着	
15:00	同社見学	
	株式会社中央電機計器製作所 出発	
15:30	大和ハウス工業株式会社 到着	
	同社見学	
17:30	大和ハウス工業株式会社 出発	
18:00	<b>懇親交流の部</b>	
	日本料理 江戸堀やまぐちにて懇親	
20:00	ホテルへ帰着の途へ	

4. 専門学校職業教育理解への成果

ベトナムのトップ大学の関係者をお呼びし、日本の専門学校の職業教育を理解していただいた。ベトナムでは、職業教育というと職業訓練レベルしかないので、大学の関係者に学歴教育と職業教育の二つのラインが必要で、日本の専門学校との連携に異議を見出していただけました。

5. 今後の展望と課題

ベトナムの大学との交流の形式として以下を提案し協議を行った。今後、この交流の形式について具体的な方策を固めていきたい。

【提案1】 ベトナム3年次日本留学1年コース・ベトナム就職

【提案2】 ベトナム3年次留学1年コース・日本就職

【提案3】 ベトナム4年次インターンシップビザコース

【提案4】 ベトナム3年次日本語ブラッシュアップコース

【提案5】 大学院進学コース

【提案6】 指導実践発表の実施と表彰

## 視察受入校 報告 [3. 大阪 YWCA 専門学校×4.修成建設専門学校] (報告 修成建設専門学校)

1. 専門学校名：大阪 YWCA 専門学校、修成建設専門学校

2. 視 察 者：

レ・クイ・ドン高校 日本語教師 PHAM HUYNH ANH VIET (ファン グイン アン ウェット) 氏  
ホーチミン技術師範大学 越日就職トレーニングセンター所長 TRAN THU HA (チャン トゥ ハ) 氏

3. 1月28日 視察行程

時 間	内 容	ねらい
9：30～11：00	修成建設専門学校 授業・施設見学	
11：00～12：00	近隣 学生マンション見学	
13：00～14：00	昼食	
15：00～16：00	大阪 YWCA 専門学校 見学&教員交流	
18：00～20：00	懇親会	

4. 専門学校職業教育理解への成果

視察者3名に対して、日本の専門学校に対する理解は、十分得られたと考える。修成では CAD を使った実習、PPT を使ったプレゼンテーション授業を見学し、学内施設においても学生作品を展示しているギャラリーには大きな関心を示していた。また、留学生が日本で生活するマンション物件についても、学校から徒歩圏内にある立地、具体的な家賃相場も安心感につながった。大阪 YWCA 専門学校では、日本語教員とのミーティングをしっかりと行ない、留学後の日本語教育のイメージがついたと感じる。昼食、懇親会を通じて、建設的な質問や意見交換を十分に行なうことができたのも大きな成果だと考える。

5. 今後の展望と課題

今回の視察はタイミングと時間的制限があったため、実現できなかったが、企業とコラボレーションした実習など見学してもらえれば、より日本の専門学校が行なっている職業教育を理解してもらえたのではないかと考える。

## 視察受入校 報告〔5.清風情報工科学院〕

1. 専門学校名：清風情報工科学院

2. 視 察 者：ハノイ工科短期大学 BACH KHOA ホルディングス 国際協力部長  
HOANG XUAN LAN (ホアン スワン ラン) 氏

3. 1月28日 視察行程

時 間	内 容	ねらい
8：00～9：30	清風学園 表敬訪問	学園グループの理念の理解
10：00～11：30	本校訪問 打合せ1	相互の自己紹介と意見交換
11：30～12：00	学生との交流1	技術系学生の実情理解
12：00～13：00	経営陣との会食	経営陣との懇親
13：00～13：30	学生との交流2	提携校の学生の実情理解
13：30～16：00	打合せ2	提携の実例紹介
16：00～16：30	校舎見学・授業見学	学校の実情理解
17：00～20：30	運営陣との会食・企業経営者と会食	提携のねらいのすり合わせ

4. 専門学校職業教育理解への成果

本校は先方からの信頼を得ることができた。その意味で招へいには価値があった。また、実務的には、次の2点を念頭に相互理解を深めた

- ・ 製造業への橋渡しの可能性
- ・ IT産業への橋渡しの可能性

その結果、製造業については、大企業<1次請け<2次請けへの就職可能性を念頭に橋渡し教育するのが有用との方向性を得た。IT産業については、産業界の変動が激しく製造業への橋渡しと同時に実施するかどうかは方向性を得ていない。

5. 今後の展望と課題

先方は短期大学であり、日本での就職とそれをステップに母国などで管理職に登用されてゆくという流れが、先方および日本側企業のニーズに合うことがわかった。但し、日本側企業はどこでもよいわけではなく、選定は慎重にする必要がある。先方は乗り気であり、提携成立の可能性は高い。今後、先方における日本語教育の体制整備の費用負担と責任分担が課題になる。

## 視察受入校 報告〔6.瓶井学園〕

1. 専門学校名：日本理工情報専門学校

2. 視 察 者：ラクホン大学 日本語学科部門長 NGUYEN THI NHU THUONG(グエン ティ ヌト)氏

3. 1月28日 視察行程

時 間	内 容	ねらい
10：00～11：30	日本理工情報専門学校見学	各学科の授業風景見学
11：30～12：30	学校長との対談	提携内容をつめる
12：30～13：30	昼食	
13：30～15：00	日本メディカル福祉専門学校見学	各学科と施設見学
15：00～17：00	日本コンピュータ専門学校見学	施設見学

4. 専門学校職業教育理解への成果

学校視察（当校の場合は日本語課程と専門課程で勉強しているベトナム学生）、日本で働かされているベトナム学生との交流を通して、ベトナム学生が日本で勉強したい事、日本で働くベトナム学生の実態、日系企業が求めるベトナム人材像が少し分かって頂けたのではないかと考えます。

5. 今後の展望と課題

提携内容については単位互換をどこまで許容するかが課題と考えます。

卒業前の半年間の日本へのインターンシップがラクホン大学より提案がありましたが、ビザの関係で困難と考えられ、今後は学生が留学後卒業に支障が出ないように提携内容を更につめる必要があります。

### 3. 国内日本語学校への専修学校留学生の職業教育の理解促進

#### 3-A. 日本語学校への専修学校職業教育の理解促進のための連携事業

##### 1. 目的・ねらい等

日本留学のワンストップサービスの推進には、専門学校と日本語学校の連携強化は不可欠である。今年度も継続してこの連携を強化する為に、専門学校の職業教育を日本語学校の留学生、教員に理解して頂く取り組みとして『出前授業』の実施を進める。具体的には専門学校の魅力を伝える多彩な出前授業（目で見て触れる体感的なメニュー）を拡大し、その広報物として、リーフレットを作成し展開した。

##### 2. 目標（広報物の完成）

###### (1) 出前授業リーフレットの作成（見開き8ページ）

- ・出前授業メニューの拡大（以下データ）

平成26年度（参画専門学校数：25校、54講座）

平成25年度（参画専門学校数：16校、30講座）

##### 3. 出前授業の実施

###### (1) 出前授業の実施（実施期限：平成27年1月末迄） 但し、データは3月末迄の見込を含む

- ・出前授業実施の講座（以下データ）

平成26年度：35講座（専門学校17校・日本語学校7校）※1

平成25年度：19講座（専門学校13校・日本語学校6校）

※1.詳細は、別紙【出前授業講座一覧】を添付

##### 4. 実施結果

大専各連の加盟校への周知と外国人留学生の受け入れを積極的に行う専門学校が増えてきたことで、今年度、この事業に参画した専門学校は25校（54講座）となり、前年度の参画専門学校16校（30講座）より大幅にアップさせることが出来た。しかしながら、昨年同様、事業としての開始時期が遅かったこと、また、経年のこの事業を契機とした専門学校と日本語学校との連携関係から事業開始を待たずして、年度当初よりスタートさせている影響もあり、ただ単純に、この事業開始時期からの結果として捉えた場合、『出前授業』の実施数は厳しいものとなった。

しかしながら、この『出前授業』を通じて、日本語学校側に専門学校の【職業教育力】を伝えることが出来たことで、今後の更なる関係構築に向けて『出前授業』の継続的な実施が必要不可欠であるとの積極的な意見があった。また、日本語学校側からも継続的な『出前授業』導入の取り組みは、外国人留学生にとって、日本での就職を視野に入れての重要な課題でもあり、歓迎であるとの意見であった。

##### 5. 次年度以降における課題・展開

事業確定からのスタートでは、すべてに於いて年度途中からの案内となり、日本語学校側からすれば、年間行事のスケジュール的に単発での取り入れとなる為、外国人留学生への本格的な職業教育を計画するには厳しい状況にあった。それを解消すべく日本語学校側からは、早期での講座案内の要望があった。

次年度以降は、文部科学省の委託事業単体としてでなく、大阪府専修学校各種学校連合会の事業との調整を行い、今後の専門学校と日本語学校との関係構築強化を図って行くこととする。

## 6. 実施資料

### (1) 出前授業配布物

大專各連平26第55号  
平成26年9月4日

設置者・代表者様  
留学生担当者様

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会  
理事長 福田 益和  
留学生委員会  
委員長 長谷川 恵一  
(公印省略)

### 日本語学校に対する専修学校職業教育の理解促進事業

～日本語学校との連携（出前授業の実施）について～

貴校に於かれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本連合会の事業につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、大阪府専修学校各種学校連合会では、平成26年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」を受託し、その事業の一環として日本語学校へ向けた専修学校職業教育の理解促進事業を実施致します。

留学生の送り出し機関である日本語学校に、専修学校が実施する多彩な授業の内容と職業教育についての理解促進を図るため、出前授業を実施し、今後の連携を深めることを目的としております。

つきましては、出前授業の実施を通して日本語学校との連携を図りたいと考えておられる専修学校（専門課程）に於かれましては、是非ともこのプログラムにご参加賜りますようご案内申し上げます。

**別紙1「出前授業メニューの提供における留意点（お願い）」**をご確認ください。

内容をご了解頂いた上で、**別紙2「専修学校出前授業メニュー（専門課程）提出様式」**にご記入頂き、9月18日（木）迄にFAXまたはメールにてご提出をお願い致します。

(主催) 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会事務局 (担当：勝間)  
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20 大手前類第一ビル7F TEL:06-6352-0048



(2) 出前授業ご案内状に同封資料

### 日本の専門学校はどんな学校？

社会のニーズに対応したいろいろな専攻ができる学校です。

日本の専門学校は、主に8つの分野に分かれ、就職をしてすぐに役立つ知識や技術が身につきます。また、併せて仕事を始める「副学」をとることができます。

**日本の専門学校の特徴**

1. 社会に出て（働き出して）すぐに役立つことが学べる！
2. 学費・授業料より、実践や実習が多い！
3. 手厚い指導が！  
(先生と生徒の距離が近く、問のあったとき、すぐに相談できます。)
4. 勉強だけでなく、就職活動が、日本での生活全般をサポートしてくれる！

### 就職率について

日本の専門学校を卒業した人の就職率は、大学や短期大学を卒業した人に比べて高くなっています。

近年では、仕事に必要な資格をとるために、大学や短期大学を卒業してから、専門学校に入学する学生が数多くいます。

【2012年 就職率】

大学卒業生	63.9%
短期大学卒業生	70.8%
★専門学校卒業生	77.4%

2012年度 学校基本調査より

### 大学編入、大学院進学の話

卒業後は就職だけでなく、進学の道も開かれています。主に2年制の専門学校を卒業すると「専門士」、4年制の専門学校を卒業すると「高度専門士」という称号がもらえます。

「専門士」があれば大学の2年次、もしくは3年次に編入、「高度専門士」は大学院にも進むことができます。ただし、専門士等の称号がもらえるのは国（文部科学省）の認可を受けている専門学校（各学科単位）ですので、注意してください。

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

専門学校  
の授業が  
やってくる

平成26年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生就職アシスト事業」  
関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業  
職業教育理解促進のための連携事業

# 出前授業メニュー

近畿圏内の日本語学校で学ぶ留学生のための出前授業



一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会



## 出前授業のご案内

観光、グラフィック、デザイン、ファッション、インテリア、美容、ITゲーム、Web、ビジネス、アニメ、洋楽、習字、書道、土ま、機織、電気、自動車、医療・保育など、日本全国のニーズに合わせてさまざまな分野の授業を行います。

本プログラムは、専門学校の授業を「出張」して受講し、日本全国の学校で実施します。本授業は、希望が通ずる場合のみ行われます。また、希望するプログラムへの参加イベントとしての実施も可能です。さらに専門学校への来校教育がプログラムに組み込まれた日本全国の専門学校でも、連携して行うことも可能です。希望する学校との連携が実現可能な場合は、より幅広い授業内容へも日本全国の学校からお送りいたします。

近畿圏内行  
日本全国の学校と  
連携した内容の  
出張授業

学校名	ジャンル	授業名・内容	日本校 開校 月	開校 年	開校 月	日本 人数
1 エール学園 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語	留学生を採用している中小企業の経営者講話 インターンシップを通して留学先企業に就職したい企業の特徴やインターンシップ、インターンシップで学ぶべきポイントについて詳しく説明し、インターンシップのメリットやデメリットを説明する。そのほか、インターンシップの準備方法についても説明する。	1月	10月	10月	75 / 200
2 エール学園 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語	コーディング・デザインを使ったキャリアデザイン コーディング・デザインの基礎知識、自分の得意な分野を伸ばすための企業選びのポイントを説明し、キャリアデザインの重要性を説明する。	7月 10月 10月	10月	10月	75 / 200
3 エール学園 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	英語ビジネス講座 日本語学習者が身につけるべき英語の基礎知識を学ぶ。また、日本のビジネス環境や文化についても説明する。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
4 大阪あべの 辻調理師専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語	調理学のデモンストレーション 本学の専攻科の調理師専門学校で、調理師としての基礎知識を学ぶ。また、調理師としての基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	100 / 200
5 大阪あべの 辻調理師専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語	調理学のデモンストレーション 本学の専攻科の調理師専門学校で、調理師としての基礎知識を学ぶ。また、調理師としての基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	100 / 200
6 大阪ウェディング ブライダル専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	サービスの基本知識 ウェディング業界の基礎知識を学ぶ。また、ウェディング業界の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
7 大阪エンタテインメント デザイン専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語	声優になるための基礎知識 声優になるための基礎知識を学ぶ。また、声優になるための基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200

学校名	ジャンル	授業名・内容	日本校 開校 月	開校 年	開校 月	日本 人数
8 大阪エンタテインメント デザイン専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	キャラクターデザインとしてイラストを作成しよう アニメーション制作の基礎知識を学ぶ。また、キャラクターデザインの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
9 大阪エンタテインメント デザイン専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	オリジナルデザイングッズ制作 オリジナルデザイングッズの制作方法を学ぶ。また、オリジナルデザイングッズの制作方法を学ぶ。	7月 10月 10月	10月	10月	75 / 200
10 大阪工業技術 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	鳥獣はドライトイラスト制作 鳥獣のイラスト制作の基礎知識を学ぶ。また、鳥獣のイラスト制作の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
11 大阪工業技術 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語	建築図面から建築模型をつくる 建築図面から建築模型をつくる方法を学ぶ。また、建築図面から建築模型をつくる方法を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
12 大阪工業技術 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語	お部屋のカラーリング制作 お部屋のカラーリングの基礎知識を学ぶ。また、お部屋のカラーリングの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
13 大阪情報 コンピュータ 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	キャラクターデザイン キャラクターデザインの基礎知識を学ぶ。また、キャラクターデザインの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
14 大阪情報 コンピュータ 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	マンガイラスト マンガイラストの基礎知識を学ぶ。また、マンガイラストの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
15 大阪情報 コンピュータ 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	ビジュアルデザイン ビジュアルデザインの基礎知識を学ぶ。また、ビジュアルデザインの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
16 大阪調理製菓 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	調理学・製菓体験実習 調理学・製菓体験実習の基礎知識を学ぶ。また、調理学・製菓体験実習の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
17 大阪調理製菓 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	調理学・製菓体験実習 調理学・製菓体験実習の基礎知識を学ぶ。また、調理学・製菓体験実習の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200

学校名	ジャンル	授業名・内容	日本校 開校 月	開校 年	開校 月	日本 人数
18 大阪ハイテクノロジー 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	センサーを使ってロボットを動かしてみよう センサーを使ってロボットを動かしてみよう。また、センサーを使ってロボットを動かしてみよう。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
19 大阪ハイテクノロジー 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	遺伝子のDNAを見てみよう 遺伝子のDNAを見てみよう。また、遺伝子のDNAを見てみよう。	7月 10月 10月	10月	10月	75 / 200
20 大阪ハイテクノロジー 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	ストレッチ体操でリラックス方法を学ぶ ストレッチ体操でリラックス方法を学ぶ。また、ストレッチ体操でリラックス方法を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
21 大阪グラフィック デザイン専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	ウェディングプランナー体験 ウェディングプランナー体験の基礎知識を学ぶ。また、ウェディングプランナー体験の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
22 ホスピタリティ 専門学校大阪 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	ホテルスタッフ体験 ホテルスタッフ体験の基礎知識を学ぶ。また、ホテルスタッフ体験の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
23 ホスピタリティ 専門学校大阪 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	京都観光地紹介 京都観光地紹介の基礎知識を学ぶ。また、京都観光地紹介の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
24 大阪保健福祉 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	基本的な介護技術 移動・移乗の介助 基本的な介護技術 移動・移乗の介助の基礎知識を学ぶ。また、基本的な介護技術 移動・移乗の介助の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
25 大阪モード学園 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	デザイン道の特色 デザイン道の特色の基礎知識を学ぶ。また、デザイン道の特色の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
26 大阪モード学園 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	チャラメルメイク チャラメルメイクの基礎知識を学ぶ。また、チャラメルメイクの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
27 大阪モード学園 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	モデリング モデリングの基礎知識を学ぶ。また、モデリングの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200

学校名	ジャンル	授業名・内容	日本校 開校 月	開校 年	開校 月	日本 人数
28 大阪モード学園 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	創作デザイン 創作デザインの基礎知識を学ぶ。また、創作デザインの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
29 大阪リゾート＆ スポーツ専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	トレーナー・インストラクター体験 トレーナー・インストラクター体験の基礎知識を学ぶ。また、トレーナー・インストラクター体験の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
30 関西外国語 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	就職に役立つビジネスマナー 就職に役立つビジネスマナーの基礎知識を学ぶ。また、就職に役立つビジネスマナーの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
31 関西外国語 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	自己ビジネス日本語能力テスト受験講座 自己ビジネス日本語能力テスト受験講座の基礎知識を学ぶ。また、自己ビジネス日本語能力テスト受験講座の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
32 修成建設 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	建築模型制作 建築模型制作の基礎知識を学ぶ。また、建築模型制作の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
33 修成建設 専門学校 [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	草花栽培 草花栽培の基礎知識を学ぶ。また、草花栽培の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
34 専門学校ESP エンタテインメント [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	ヴォイストレーニング ヴォイストレーニングの基礎知識を学ぶ。また、ヴォイストレーニングの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
35 専門学校ESP エンタテインメント [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	ダンス基礎レッスン ダンス基礎レッスンの基礎知識を学ぶ。また、ダンス基礎レッスンの基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
36 専門学校ESP エンタテインメント [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	DTM・音楽入門 DTM・音楽入門の基礎知識を学ぶ。また、DTM・音楽入門の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200
37 専門学校ESP エンタテインメント [開校月:06/00/00] [開校年:00] [開校月:]	英語 英語	コンサートスタッフ基礎講座 コンサートスタッフ基礎講座の基礎知識を学ぶ。また、コンサートスタッフ基礎講座の基礎知識を学ぶ。	10月 10月	10月	10月	75 / 200





## (4) 出前授業講座 一覧

日本語教育機関	NO.	実施専門学校・大学	実施日	講座メニュー	受講者数
関西外語専門学校 日本語課程	1	大阪モード学園	7月2日	デザイン画の制作	20名
	2	日本メディカル福祉専門学校	7月9日	保育士体験	20名
	3	修成建設専門学校	7月16日	住宅模型の制作	20名
	4	大阪エンタテインメントデザイン専門学校	7月23日	ゲームキャラクター講座	20名
	5	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	8月27日	シルバーアクセサリ製作	20名
	6	辻調理師専門学校【訪問】	9月3日	調理・製菓の体験と試食	20名
	7	大阪ダンス&アクターズ専門学校	9月10日	アテレコ体験	20名
	8	大阪コミュニケーションアート専門学校	1月20日	アニメーション原画の制作	20名
	9	大阪リゾート&スポーツ専門学校	1月27日	スポーツトレーナー体験	20名
	10	修成建設専門学校	2月3日	住宅模型の制作	20名
	11	大阪ダンス&アクターズ専門学校	2月24日	アテレコ体験	20名
	12	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	3月3日(予定)	シルバーアクセサリ製作	20名
	13	辻調理師専門学校【訪問】	3月10日(予定)	調理・製菓の体験と試食	20名
神戸国際語言学院	14	大阪情報コンピュータ専門学校	11月28日	キャラクターデザイン	11名
	15	大阪モード学園	11月28日	ナチュラルメイク	8名
シンアイ語学専門学院	16	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	1月30日	シルバーアクセサリ製作	13名
	17	大阪工業技術専門学校	2月3日	魚型LEDライトストラップ製作	9名
	18	大阪モード学園	2月3日	ナチュラルメイク	12名
大阪YWCA専門学校	19	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	7月25日	シルバーアクセサリ製作	10名
	20	ECCアーティスト専門学校	8月5日	メイク体験	12名
	21	ECCアーティスト専門学校	8月6日	ネイルアート体験	5名
	22	大阪ハイテクノロジー専門学校	2月6日	自分のDNAを見てみよう	20名
	23	修成建設専門学校	3月26日(予定)	季節の草花の寄せ植え	8名前後
	24	大阪モード学園	3月26日(予定)	ナチュラルメイク	8名前後
日中語学専門学院	25	大阪工業技術専門学校	2月9日	魚型LEDライトストラップ製作	10名
	26	大阪エンタテインメントデザイン専門学校	2月10日	声優になるための基礎ボイストレーニング	15名
アジアハウス附属海風日本語学舎	27	日本メディカル福祉専門学校	2月16日	日本の子どもの伝統あそびを知らう	10名前後
	28	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪		ホテルスタッフ体験	10名
新亜国際語言学院	29	大阪ハイテクノロジー専門学校	3月19日 (予定)	自分のDNAを見てみよう	8名
	30	大阪モード学園		ナチュラルメイク	18名
	31	専門学校ESPエンタテインメント		アニメ・アフレコ体験	20名
	32	関西外語専門学校		ビジネスマナー	25名
	33	修成建設専門学校		建築模型製作	24名
	34	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪		シルバーアクセサリ製作	20名
	35	ホンダテクニカルカレッジ関西		エンジンの仕組みを理解しよう	13名
合計					549名

2015.2.26現在

出前授業実施件数 35件  
 出前授業実施日本語学校 7校  
 出前授業実施専門学校 17校  
 出前授業利用人数 約549名前後



実施報告書(職業教育理解促進のための連携事業)		15
専門学校名	大阪モード学園	
担当講師名	メイク学科教師 河村 希奈、メイク学科就職担任 安田 康平	
日本語教育機関名	神戸国際語言学院 (専任講師 五十嵐 小優粒 先生)	
実施日時	2014年 11月 28日 ( 金 )	14:55 ~ 16:35
対象者数	8 名	
講座名	ナチュラルメイク	
実施概況	<p><b>【1】 自己紹介 (10分)</b> 大阪モード学園の紹介と、講師紹介 元 NARS メイクアップアーティスト 河村 希奈 メイク学科就職担任 安田 康平</p> <p><b>【2】 メイクデモンストレーション (70分)</b> 3人の学生をモデルにして、ナチュラルメイク・トレンドメイク・ポイントメイクを行った。</p> <p><b>【3】 質疑応答 (20分)</b> ・メイク関連の就職について ・専門学校の授業内容について</p>	
実施結果	<p><b>■ 講座実施における成果</b></p> <p>メイクデモンストレーションにより「メイクでの女性の輝かせ方」を伝えるとともに、専門学校におけるメイクの学びについて話したが、全員が目を輝かせてデモを凝視し、大変前向きな受講姿勢で有った。メイクについての関心が、より高まったと感じた。</p> <p><b>■ 講座実施における反省点</b></p> <p>来日間もない学生さんが多く、極力、簡易な日本語を使うようにしたが、一部、伝わらないこともあったと思われる。途中から、神戸国際語言学院さんの先生が入ってくださり通訳いただけ、より順調な進行が行えた。</p> <p><b>■ 職業教育理解促進における成果</b></p> <p>● 専門学校という学校種について、学生に伝えることができたか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> どちらとも言えない</p> <p>● 実施した出前授業がどのような職業、また就職先に繋がっているか伝えることができたか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> どちらとも言えない</p> <p>● 上記2点に関しまして、ご意見等がありましたら、自由にご記載ください。</p> <p>各種専門分野における技術職を理解してもらっきっかけとして、大変、有効であり、留学生の皆さんの今後の向学意欲に繋がるであろう、貴重な機会であると感じた。 継続的に実施していくことで、より成果が得られることは間違いないであろうと思われる。</p>	







実施報告書(職業教育理解促進のための連携事業)		18
専門学校名	大阪モード学園	
担当講師名	メイク学科教師 河村 希奈、 管理部 留学生指導担当 安田 康平	
日本語教育機関名	シンアイ語学専門学院 (教務主任 小野 真由子先生)	
実施日時	2015年 2月 3日 ( 火 )	11:00 ~ 12:30
対象者数	12名	
講座名	ナチュラルメイク	
実施概況	<p><b>【1】 自己紹介 (10分)</b> 大阪モード学園の紹介と、講師紹介 元 NARS メイクアップアーティスト 河村 希奈 留学生担当 安田康平</p> <p><b>【2】 メイクデモンストレーション、質疑応答 (80分)</b> 数人の学生をモデルにして、ナチュラルメイク・トレンドメイク・ポイントメイクを行った。 同時に質疑応答も実施</p>	
実施結果	<p><b>■ 講座実施における成果</b></p> <p>メイクデモンストレーションによりメイクの基本を伝え、メイクすることの重要性について話した。全員が目を輝かせてデモを凝視し、大変前向きな受講姿勢であった。メイクについての関心が、より高まったと感じた。</p> <p><b>■ 講座実施における反省点</b></p> <p>受講学生全員に、教師1名で完璧なメイクを施すことは難しく、デモンストレーション中心に成るが、今回は全員がほぼノーメイクで参加されていた。結果的に希望者全員をメイクすることができたが、今後は期待を裏切らないように事前調整を徹底したい。</p> <p><b>■ 職業教育理解促進における成果</b></p> <p>● 専門学校という学校種について、学生に伝えることができたか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> どちらとも言えない</p> <p>● 実施した出前授業がどのような職業、また就職先に繋がっているか伝えることができたか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> どちらとも言えない</p> <p>● 上記2点に関しまして、ご意見等がありましたら、自由にご記載ください。</p> <p>専門分野での技術職の仕事内容を理解してもらうきっかけとして有効であり、留学生の皆さんの就学・就業意欲に繋がる貴重な機会であると感じた。 継続的に実施していくことが重要だと思われる。</p>	



## 4. 留学生採用意欲を持つ中小企業と専修学校との連携事業

### 4-A. 留学生採用企業交流会の実施

#### 1. 目的・ねらい等

地域中小企業との連携強化、円滑な専修学校留学生採用のため、企業の採用担当者と専修学校就職担当者、行政関係者との産官学交流会を実施する。開催に当たっては、新規に海外進出を考え留学生を初めて採用する企業にも配慮した交流会とするため、地域中小企業団体の協力も得て、企業側の採用事例、学校側の就職指導事例を入れた魅力あるセミナーとして実施する。

#### 2. 関連して行った事業名

「4-B. 専修学校職業教育普及のための外国人留学生採用ガイドブックの作成」

#### 3. 実施結果

##### (1) 実施内容

1) 第1部セミナーでは2段階の組み立てで、①ミニ研修会として『就労ビザ申請の手続きのポイント』②事例発表として『日本で働くということ～専門学校で学び、就職活動から現在まで～』『専門学校留学生人材の魅力～採用目的と採用までの流れ、利点と課題～』といった構成で、留学生として就職活動をする側、留学生を採用する側、各々のお立場での話をしていただいた。

##### 2) 交流会（意見交換の場）のポイント

1グループが10名までに収まるようにグループ分けをしたが、その際、これから採用を考えられている企業と、既に採用実績をお持ちの企業とに分け、同じ立場で問題や成功事例を共有出来るよう便宜を図った。

##### 3) 広報活動

大阪商工会議所名簿約3000件に案内状を送付し、企業動員を実施。

##### (2) 実施プログラム

「外国人留学生採用交流会」

1) 開催日：平成26年12月3日（水）15：00～18：00

2) 会場：大阪YMCA会館 9階 903号室

3) 参加人数85名（内訳：企業34名／行政11名／専門学校17名／講演者2名／留学生委員会等18名／留学生3名）

##### 4) 当日のプログラム

司会：森ノ宮医療学園専門学校 川鍋 史一

<挨拶>専門学校の概要、専門学校の留学生の状況

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長

大阪商工会議所

人材育成委員会 委員長 長谷川 恵一

<ミニ研修>就労ビザ申請の手続きのポイント

学校法人 上田学園

学生部 次長 津川 龍一（申請取次資格保有者）

<事例発表1>日本で働くということ ～専門学校での学び、就職活動から現在まで  
外国籍社員（専門学校卒業生）による講演

<事例発表2>専門学校留学生人材の魅力～採用目的と採用までの流れ、利点と課題～  
留学生採用企業人事担当者による講演

<テーマ別グループディスカッション>

- ①留学生の採用に関する課題や優秀な留学生を確保する採用活動について
- ②採用後の育成と課題について(教育方法等)

<名刺交換等自由交流>

#### 5) 当日配布資料

当日プログラム、アンケート、「平成26年度職業人育成ガイド」

#### 4. 当初目的の達成状況

昨年度の反省を踏まえ、日本語学校、それに加えて大学関係に対しては積極的なアプローチを控えて告知をしたにも関わらず、前年を上回る参加者数を確保することができた。

また、終了後のアンケートからも「今後もこのような機会があれば参加したい」という質問に対して75%が「希望する（無回答は含まず）」とされている。参加された企業側にしてみれば、個別に抱えている問題解決を希望されているようであるが、概ねディスカッションまで含め歓迎されているようであった。定期的な開催も希望されている意見もあり、当初の目的は達成できたと考える。

ただ、外国人雇用については、まだまだ消極的な姿勢が散見され、何が障害となっているのか、今後のイベント等の際にもアンケート調査を継続し、各企業が抱えている問題抽出もしていかなければならない。

#### 5. 成果

グループディスカッションの中での意見として、企業、特に中小零細企業が求めている人材としては、「専門的な技術・知識を有する外国人労働者」という観点で言うと、外国人の就職支援、就労継続について取り組んでいく学校群としては我々専門学校であり、使命であることを、改めて感じることの出来た交流会となった。

それに加えて、「どこに相談すれば外国人にアプローチできるのか」が分からない企業がまだまだ存在していることも再認識できた。

#### 6. 次年度以降における課題・展開

今後の課題・展開としては、機会をこれまで以上に設け、各企業が抱えている問題抽出を行うことと、我々の活動をもっと広く周知してもらうための仕掛け作りであろう。これまで使用してきた「交流会」という表現も再考する必要があるのではと考える。

7. 実施資料

(1) プログラム等当日配布資料

平成26年度専修学校留学生就職アシスト事業 参加者様用プログラム

「外国人留学生採用交流会」

～留学生のより良い採用と育成を目指すための産・官・学交流会～

【主 催】 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

【日 時】 平成26年12月3日(水) / 15:00～18:00

【会 場】 大阪YMCA会館 9階 903号室

時 間	プログラム
14:30～ 15:00～15:10 (10分)	受付 司会：川鍋 <b>&lt;挨拶&gt;</b> <b>専門学校概要、専門学校の留学生の状況</b> (一社)大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長 大阪商工会議所 人材育成委員会 委員長 長谷川 恵一
15:10～15:40 (30分)	<b>&lt;ミニ研修&gt;</b> <b>就労ビザ申請の手続きのポイント</b> 学校法人 上田学園 学生部 次長 津川 龍一 (申請取次資格保有者)
15:40～16:00 (20分)	<b>&lt;事例発表1&gt;</b> 日本で働くということ ～専門学校での学び、就職活動から現在まで (株)ノアコーポレーション 林 聖恵 氏 (大阪YMCA国際専門学校卒業)
16:00～16:20 (20分)	<b>&lt;事例発表2&gt;</b> <b>専門学校留学生人材の魅力～採用目的と採用までの流れ、利点と課題～</b> (株)ジャッツ関西 スタッフ派遣部長 奥田 善彦 氏
16:20～16:30	休憩
16:30～17:30 (60分)	テーマ別グループディスカッション ①留学生の採用に関する課題や優秀な留学生を確保する採用活動について ②採用後の育成と課題について(教育方法等)
17:30～18:00 (30分)	名刺交換等自由交流 ※交流時間中に名刺交換されたい方を呼び出しをいたします。マイクを持った係員にお申し出ください。

ストラップカラー:企業レッド/専門学校グリーン/行政ブルー/留学生イエロー/事務局グレー

(2) 出席者名簿

	【企業】	部署・役職名	出席
1	ART(株)	代表取締役	欠
2	ART(株)	国際人財部	1
3	ART(株)		1
4	㈱アイテム西日本事業本部	次長	1
5	ALAKI(株)	代表取締役	1
6	㈱アルトスター	代表取締役社長	1
7	泉佐野ツーリストインフォメーションセンターおもてなし大阪プロジェクト	プロデューサー	1
8	㈱織元	代表取締役	1
9	共和技術工業(株)	取締役会長	1
10	㈱グロップ	関西営業部 ベトナム開発部	1
11	KEC教育グループ	所長	1
12	KEC教育グループ	シニアコンサルタント	1
13	㈱ケシオン	管理部取締役	1
14	㈱ケシオン	管理部マネージャー	欠
15	㈱コンディ	代表取締役	1
16	㈱JOIN	代表取締役	1
17	㈱スミタ	営業部長	1
18	精工産業(株)	取締役	1
19	㈱中央電気計器製作所	営業第一部担当	1
20	㈱西島製作所	人事部	1
21	㈱ナジック・アイ・サポート大阪営業所	専務執行役割	1
22	㈱ナジック・アイ・サポート大阪営業所	キャリア支援部課長代理	1
23	㈱日本トラフィックサービス	総務部課長	1
24	㈱ノアコーポレイション	代表取締役	1
25	㈱ノアコーポレイション	営業	1
26	㈱ノーザンライツ	イノベーション事業部マーケティング	1
27	㈱阪急トラベルサポート	大阪支店支店長	1
28	㈱阪急トラベルサポート	添乗派遣課	1
29	㈱阪急トラベルサポート	取締役管理本部長	1
30	㈱阪急交通社	西日本営業本部総括部長	1
31	㈱藤井商店	専務取締役	欠
32	㈱藤井商店		1
33	㈱藤井商店	課長	1
34	㈱PLUS1	代表取締役	欠
35	㈱フレンチ		1
36	ホテル栄	支配人	欠
37	ミノックス(株)	管理部長	1
38	㈱インサイスバリュー		1
39	㈱パンフィック・アソシエイツ		1
		合計	34

	【行政】	部署・役職名	出席
1	公財 大阪国際交流センター	事務局長	欠
2		総務リーダー	欠
3	近畿経済産業局	産業人材政策課長	1
4		産業人材政策課	1
5	(一財)大阪国際経済振興センター	国際経済交流プロジェクト外部長代理	欠
6	大阪府商工労働部 成長産業振興室	立地・成長支援課	1
7	大阪府商工労働部 雇用推進室就業促進課	企業支援グループ	1
8		企業支援グループ	1
9	大阪府国際化戦略実行委員会事務局		1
10	一般財団法人大阪労働協会	人材開発事業企画推進グループ	1
11		人材開発事業企画推進グループ	1
12	大阪市経済戦略局	立地推進部都市間交流担当課長	1
13	大阪商工会議所	人材開発部長	1
14	大阪商工会議所		1
		合計	11

	【専門学校】	部署・役職	出席
1	大阪電子専門学校	広報	1
2	大阪外語専門学校	本部(留学生担当)	欠
3	大阪アニメーションカレッジ専門学校	学生課	1
4	大阪工業技術専門学校	キャリアセンター	1
5	大阪情報コンピュータ専門学校	キャリア支援課	欠
6	大阪YWCA専門学校	日本語学科教務	1
7	大阪バイオメディカル専門学校	教務・学務	1
8	大阪YMCA国際専門学校		1
9	上田安子服飾専門学校	学生部	1
10	エール学園	事業開発室	1
11	エール学園	キャリア教育メンタリング室	1
12	関西外語専門学校	入試事務局	1
13	学校法人三幸学園辻学園調理・製菓専門学校	職員室	1
14	辻調理師専門学校	コミュニケーション本部入学事務室	1
15	清風情報工科学院	日本語科	欠
16	清風情報工科学院		1
17	創造社デザイン専門学校	教務事務室	1
18	修成建設専門学校	事務局	1
19	修成建設専門学校	事務局	1
20	履正社医療スポーツ専門学校	野球コース教員	1
		合計	17

	【留学生】	部署・役職	出席
1	大阪YWCA専門学校	日本語学科	1
2	清風情報工科学院	日本語科	1
3	学校法人 エール学園	国際ビジネス学科 貿易・経営ビジネスコース	1
		合計	3

	【講演者】	部署・役職	出席
1	㈱ノアコーポレイション		1
2	㈱ジャッツ関西	スタッフ派遣部長	1
		合計	2

	【留学生委員】	部署・役職	出席
1	エール学園		1
2	上田安子服飾専門学校		1
3	大阪エンタテインメント専門学校		1
4	関西外語専門学校		1
5	大阪YMCA		1
6	大阪YMCA		1
5	大阪YMCA		1
5	大阪YMCA		1
5	大阪YMCA		1
6	森ノ宮医療学園専門学校		1
7	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪		1
8	エール学園		1
9	エール学園		1
10	大阪工業技術専門学校		1
11	学校法人 瓶井学園		1
12	学校法人 瓶井学園		1
13	修成建設専門学校		1
14	修成建設専門学校		1
		合計	18

出席者 総数	合計
企業	34
行政	11
専門学校	17
留学生	3
講演者	2
留学生委員ワーキング	18
合計	85

(3) アンケート

平成26年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」

外国人留学生採用交流会アンケート集計<①企業>

【調査概要】調査日：平成26年12月3日（水）

○調査方法：本セミナー終了後、実施

○調査対象：セミナー参加者85名（うち企業34名）

○回収数：企業16件

1. 氏名、団体名の記入→別紙集計

2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	10	6	0	0	16
%	62.5	37.5	0	0	

1)【自由回答】希望時期は？（6月1件、8月1件、10月2件、12月以外1件）

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	14	1	1	0	16
%	87.5	6.3	6.3	0	

2)【自由回答】希望時間は？（2時間1件、4時間1件）

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜ミニ研修＞就労ビザ申請の手続きのポイント

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立つたない	⑤役立つたない	無回答・無効	合計
人数	7	8	1	0	0	0	16
%	43.8	50.0	6.3				

2)＜事例発表1＞外国籍社員（専門学校卒業生）による講演

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立つたない	⑤役立つたない	無回答・無効	合計
人数	7	6	3	0	0	0	16
%	43.8	37.5	18.8	0	0	0	

3)＜事例発表2＞留学生採用企業人事担当者による講演

質問項目	①とても役立つ内容だった	②役立つ部分もあった	③どちらでもない	④あまり役立つたない	⑤役立つたない	無回答・無効	合計
人数	5	7	4	0	0	0	16
%	31.3	43.8	25.0	0	0	0	



#### 4. テーマ別ディスカッション、自由交流について十分な情報交換ができましたか。

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義では なかった	無回答・無効	合計
人数	7	4	2	0	0	3	16
%	43.8	25.0	12.5	0	0	18.8	

#### 5. 本日の交流会に関する感想をお聞かせください。

##### 1) 本日の交流会は、有意義だと思われましたか？

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義では なかった	無回答・無効	合計
人数	7	8	1	0	0	0	16
%	43.8	50.0	6.3	0	0	0	

##### 2) 今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	12	2	2	16
%	75.0	12.5	12.5	

##### 3) 本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

###### 【自由回答】

- ・各社の抱える問題点を解決するために、個別の対応がよい。
- ・本日はありがとうございました。ディスカッションの場の検討ができればお願いします。まわりの声が大きくてグループ内の声がかきにくかった。
- ・定期的にあるとよいと感じました。
- ・企画別で実施していただきたい。
- ・本日はありがとうございました。

#### 6. 企業様へお伺いします。貴社の留学生採用に関する状況をお聞かせください。

##### 1) 貴社は留学生を採用する予定はございますか。(いずれか1つを選択)

質問項目	①採用経験があり、 今後も採用予定が ある	②現在までに採用 経験はないが、採用 予定がある	③すでに採用経験 はあるが、今後は 採用しない	④現在までに採用 経験はなく、採用 予定もない	⑤検討中である	無回答・無効	合計
人数	5	2	0	1	2	6	16
%	31.3	12.5	0	6.3	12.5	37.5	

2) 上記5・1)で③、④、⑤とお答えの方にお聞きします。留学生を採用しない理由をお聞かせください。

- ・前向きに検討中

#### 7. 貴社のインターンシップの受け入れ状況についてお聞きいたします。

##### 1) 現在、インターンシップの受け入れを実施していますか？

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	5	5	6	16
%	31.3	31.3	37.5	

2)上記6で①と回答された企業様にお聞きします。年間何名程度、どのくらいの期間実施していますか？

・年間(〇〇)名程度受け入れている。1回の受け入れ期間は、(〇〇)日程度

【回答】

A社:年間7名程度受け、1回の受け入れ期間は、10日程度

B社:年間3名程度受け、1回の受け入れ期間は、7~8日程度

C社:年間2名程度受け、1回の受け入れ期間は、3~6ヶ月程度(週3日程度)

D社:年間1名程度受け、1回の受け入れ期間は、10日程度

E社:年間3名程度受け、1回の受け入れ期間は、5日程度

3)上記7で②と回答された企業様にお聞きします。今後、受け入れを実施する(受け入れを検討される)予定はございますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	4	2	10	16
%	25.0	12.5	62.5	

8. 貴社の業種をお聞かせください。

質問項目	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	
人数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
%	0	0	0	0	6.3	6.3	0	0	0	
質問項目	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	サービス業	公務	無回答・無効	合計
人数	2	0	1	0	0	1	4	0	6	16
%	12.5	0	6.3	0	0	6.3	25.0	0	37.5	

9. 当連合会より、留学生支援に関するご案内をさせていただいてもよろしいですか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	9	0	7	16
%	56.3	0	43.8	

外国人留学生採用交流会アンケート集計<②行政>

【調査概要】調査日：平成26年12月3日（水）

○調査方法：本セミナー終了後、実施

○調査対象：セミナー参加者85名（うち行政のみ11名）

○回収数：行政6件

1. 氏名、団体名の記入→別紙集計

2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	6	0	0	0	6
%	100.0	0	0	0	

1)【自由回答】希望時期は？（9月1件、11月1件）

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	6	0	0	0	6
%	100.0	0	0	0	

2)【自由回答】希望時間は？（記載なし）

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜ミニ研修＞就労ビザ申請の手続きのポイント

質問項目	①とても役立つ 内容だった	②役立つ部分も あった	③どちらでもない	④あまり 役立つしない	⑤役立つしない	無回答・無効	合計
人数	6	0	0	0	0	0	6
%	100.0	0	0	0	0	0	

2)＜事例発表1＞外国籍社員（専門学校卒業生）による講演

質問項目	①とても役立つ 内容だった	②役立つ部分も あった	③どちらでもない	④あまり 役立つしない	⑤役立つしない	無回答・無効	合計
人数	6	0	0	0	0	0	6
%	100.0	0	0	0	0	0	

3)＜事例発表2＞留学生採用企業人事担当者による講演

質問項目	①とても役立つ 内容だった	②役立つ部分も あった	③どちらでもない	④あまり 役立つしない	⑤役立つしない	無回答・無効	合計
人数	5	1	0	0	0	0	6
%	83.3	16.7	0	0	0	0	

#### 4. テーマ別ディスカッション、自由交流について十分な情報交換ができましたか。

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義では なかった	無回答・無効	合計
人数	4	0	0	0	0	2	6
%	66.7	0	0	0	0	33.3	

#### 5. 本日の交流会に関する感想をお聞かせください。

##### 1) 本日の交流会は、有意義だと思われましたか？

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義では なかった	無回答・無効	合計
人数	5	1	0	0	0	0	6
%	83.3	16.7	0	0	0	0	

##### 2) 今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	4	0	2	6
%	66.7	0	33.3	

##### 3) 本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。【自由回答】

- ・ありがとうございました。
- ・企業様の生の声が多く聞くことができ、とても有意義でした。貴重な機会をありがとうございます。
- ・様々な業種の方の率直なご意見、疑問を聞くことができてよかったです。

#### 9. 当連合会より、留学生支援に関するご案内をさせていただいてもよろしいですか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	0	0	6	6
%	0	0	100.0	

※問6,7,8は、行政への質問項目ではないため記載なし。

外国人留学生採用交流会アンケート集計<③専門学校>

【調査概要】調査日：平成26年12月3日（水）

○調査方法：本セミナー終了後、実施

○調査対象：セミナー参加者85名（うち専門学校17名＋ワーキング校18名）

○回収数：専門学校12件

1. 氏名、団体名の記入→別紙集計

2. 本交流会の開催時期、実施時間について、ご意見ご感想をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)開催時期について

質問項目	①ちょうど良い	②もっと早くしてほしい	③もっと遅くしてほしい	無回答・無効	合計
人数	10	2	0	0	12
%	83.3	16.7	0	0	

1)【自由回答】希望時期は？（9月1件、11月1件）

2)実施時間について

質問項目	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	無回答・無効	合計
人数	11	0	1	0	12
%	91.7	0	8.3	0	

2)【自由回答】希望時間は？（記載なし）

3. 各プログラムについてご感想、ご意見をお聞かせください。（いずれか1つを選択）

1)＜ミニ研修＞就労ビザ申請の手続きのポイント

質問項目	①とても役立つ 内容だった	②役立つ部分も あった	③どちらでもない	④あまり役立たな い	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	9	3	0	0	0	0	12
%	75.0	25.0	0	0	0	0	

2)＜事例発表1＞外国籍社員（専門学校卒業生）による講演

質問項目	①とても役立つ 内容だった	②役立つ部分も あった	③どちらでもない	④あまり 役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	9	3	0	0	0	0	12
%	75.0	25.0	0	0	0	0	

3)＜事例発表2＞留学生採用企業人事担当者による講演

質問項目	①とても役立つ 内容だった	②役立つ部分も あった	③どちらでもない	④あまり 役立たない	⑤役立たない	無回答・無効	合計
人数	4	8	0	0	0	0	12
%	33.3	66.7	0	0	0	0	

#### 4. テーマ別ディスカッション、自由交流について十分な情報交換ができましたか。

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義では なかった	無回答・無効	合計
人数	7	4	1	0	0	0	12
%	58.3	33.3	8.3	0	0	0	

#### 5. 本日の交流会に関する感想をお聞かせください。

##### 1) 本日の交流会は、有意義だと思われましたか？

質問項目	①とても有意義 だった	②有意義だった	③どちらでもない	④あまり有意義 ではなかった	⑤有意義では なかった	無回答・無効	合計
人数	6	6	0	0	0	0	12
%	50.0	50.0	0	0	0	0	

##### 2) 今後、本日と同様の交流会があれば参加したいと思いますか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	9	0	3	12
%	75.0	0	25.0	

##### 3) 本日の交流会に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。【自由回答】

- ・私自身就職後日が浅く、勉強不足なところがあり、ディスカッションでは他の方のお話を聞いているだけしかできませんでしたが、企業の皆様や他の学校の貴重なお話をきくことができ、大変勉強になりました。
- ・在留資格等手続きのポイントをもう少し詳しくお聞きしたかった。時間をもう少し確保していただけたら幸いです。
- ・グループディスカッションがとても役に立ちました。本音の時間でとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・外国籍社員、林さんの講演が素晴らしかったです。笑顔で解りやすく話されていましたし、内容を聞いていて、とても努力家で謙虚で前向きだなあと感じました。日本人学生や社会人も見習うべきだと思いました。彼女の人生はこれからも輝かしいものだと思います。
- ・採用担当者のお考えを伺う事が出来て大変勉強になりました。
- ・ありがとうございました。
- ・交流会では様々な意見をお伺いすることができたが、グループの人数も多かったせいか、よく聞こえなかった。
- ・専門学校卒業生による講演がとても興味深かったです。日本独自の文化に戸惑った話など、現在在学中の留学生にも共通する話だと思うので、今日の講演での話を今後の学生対応に活かしていきたいと思います。

#### 9. 当連合会より、留学生支援に関するご案内をさせていただいてもよろしいですか。

質問項目	①はい	②いいえ	無回答・無効	合計
人数	4	0	8	12
%	33.3	0	66.7	

※問6,7,8は、専門学校への質問項目ではないため記載なし。

## 4-B. 専修学校職業教育普及のための外国人留学生採用ガイドブックの作成

### 1. 目的・ねらい等

地域の中小企業に専修学校の留学生教育の現状を理解していただき、より多くの留学生を採用・活用していただくために、これまで開発してきた「平成 26 年度留学生職業人育成ガイド」を企業向けに再構築したガイドとして作成し、地域中小企業へ配布、理解促進のツールとする。

### 2. 関連して行った事業名

「1-A. WEB 上での留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信」

「4-A. 留学生採用企業交流会」

### 3. 実施結果

『平成 26 年度留学生職業人育成ガイド』

#### (1) 総ページ数

120 ページ (昨年度 116 ページ)

#### (2) 掲載内容

留学生受け入れ校 85 校の情報掲載

(昨年度情報掲載校 82 校 昨年度比 103.7%)

専門学校卒業後に活躍する元留学生たちの紹介者数 49 名

(昨年度紹介者数 56 名 昨年度比 87.5%)

#### (3) 活用状況

「4-A. 留学生採用企業交流会」にて普及。

### 4. 当初目的の達成状況

留学生採用を検討している企業を対象とした冊子作りを心がけ、新たな記事内容として「外国人留学生採用と就労ビザ申請基礎知識」を 4 ページに渡って掲載し、留学生採用時の参考資料として役立てることができる紙面づくりを目指した。

専門学校の理解促進を目的としたページにおいては、平成 26 年 4 月から文部科学省大臣認定の「職業実践専門課程」がスタートしたことを受け、その説明内容を新たに追加。また、表現の見直しを行い、掲載数値についても最新の情報に更新するなど、専門学校の現状が正しく把握できるよう配慮した。専門学校卒業後に日本や母国で活躍する留学生を紹介しているが、掲載人数は昨年度比 87.5%と、減少している。これは掲載履歴の古いものを整理削除し、最新情報に置き換えたためであり、より現状に即した卒業生たちの活躍状況が把握できるようになった。さらに「外国人留学生インターンシップ受け入れ企業の声」、「外国人留学生採用企業の声」の欄を設け、企業の生の声を伝えることにより、留学生の活躍状況について、より一層理解しやすくした。

専門学校の受け入れ状況を伝える「留学生情報カード」においては、各学校における在籍留学生数の人数を国籍別に明記することで、企業が採用を検討するときの情報として利便性を高めた。

### 5. 成果

留学生採用企業交流会での普及やWEB 媒体利用による告知など、『平成 26 年度留学生職業人育成ガイド』を広く知らしめることにより、企業の留学生採用に対する意識を高めることができた。

また、留学生を送り出している国内外の日本語学校にも広く配布し、専門学校入学から卒業・就職までの流れについて知識・情報を共有することで、企業に留学生採用を促す環境作りの輪を広げることができた。

## 6. 成果物

『平成 26 年度 留学生職業人育成ガイド』

## 7. 次年度以降における課題・展開

今年度は留学生採用企業を対象とした内容の冊子作りを行ったものの、企業の冊子利用について充分普及できたとは言い難く、さらに促進を図ることが今後の課題となる。そのために必要な方法・手段を検討するとともに、内容面においても利用者からさらに高い評価を得るような冊子作りを目指す必要がある。



### 第3章：「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」のまとめ

#### 1. 委託事業の成果

今年度の事業は、大専各が過去5年間にわたり「関西型留学生就職支援基盤の構築事業」、「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」において推進してきた「専修学校留学生の受入の整備、専修学校留学生のための職業教育モデルの構築、産・官・学の連携による専修学校留学生の採用促進のための連携の強化、留学生の受入から就職までのワンストップサービスの定着」を一步進め、かつ新しい課題にも挑戦し、留学生の日本就職の推進事業を新しい段階へと導くことができた。

日本の専門学校での留学生への職業教育の質の高さを国内外へ普及することができ、WEBコンテンツの充実、海外拠点整備、日本語学校連携事業、企業交流会という事業を通して、一層のプレゼンスを得ることに成功した。

今年度の課題として取り組んだベトナム人材の育成について、拠点整備として大きな成果を得、今後海外の高等教育機関と専門学校のグループが具体的提携をし、留学送り出しと受け入れの一貫教育の可能性を拓き、この人材育成を企業へ送り出す理想の形がモデルとして提案できるまでとなった。なおこのモデル形成に大阪府、大阪商工会議所をはじめ地域の産業界、行政が協力して実施できたことは、これまでの基盤の形成のおかげであった。

#### (1)委託事業の成果一覧

NO.	事業名	期待する成果	目標	成果指標	実績
1-A	WEB上での留学情報、職業教育、教育コンテンツの発信	海外への情報発信と留学生確保のための広報	サイトの改定	運営者の自己評価、関係者評価で運用の質評価を実施	<b>1. 新規コンテンツ</b> ①E-learningコンテンツ(サンプル例参照) ②ビジネス日本語トレーニングテスト(敬語編、挨拶編、ビジネスマナー編) ③就職支援チェックテスト 面接編 ビジネス日本語能力テスト(聴解、読解) ④交流広場( SNS ) <b>2. ダウンロードサービスコンテンツ</b> ①留学生職業人育成ガイド(PDF) ②出前授業メニュー(PDF) ③教材提供サービス(初級・中級)(PDF、Word)
2-A	現地教育機関との交流会の実施	海外拠点整備と海外送り出し機関とのネットワーク形成	大学・短期大学・高校・日本語学校関係者50名以上の参加	交流会での満足度と現地での共同提案	【参加者数】 ①11/25(火)ハノイセミナー:計21団体28名 ②11/27(木)ホーチミンセミナー計29団体28名 【担当校】 ①上田学園(上田女子服飾専門学校/大阪総合デザイン専門学校/大阪エンタテインメントデザイン専門学校)※ホーチミンから参加 ②エル学園 ③大阪YWCA専門学校 ④修成建設専門学校 ⑤清風情報工科学院 ⑥瓶井学園(日本コンピュータ専門学校/日本メディカル福祉専門学校/日本理工情報専門学校)
2-B	現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための来日招へいと視察受入	海外拠点整備と海外送り出し機関とのネットワーク形成	ベトナム代表団10名の招へい	代表団の満足度と日本での共同提案	1/27(火)～31(土)ベトナム教育機関視察来日 【招へい校8校】 ①ハノイ貿易大学 ②ハノイ大学 ③ハノイ工科短期大学 ④ホーチミン市人文社会科学大学 ⑤ホンノン国際大学 ⑥ラクホン大学 ⑦ホーチミン技術師範大学 ⑧レクワイトン高校 【参加人数】 ①1月27日視察団来日セレモニー 56名 ②日本企業視察2社(光洋機械産業㈱ 西脇工場/㈱フジキン 大阪柏原事務所) ③日本の教育機関視察10校
3-A	日本語学校への専修学校留学生職業教育の理解促進のための連携授業	留学生送り出し機関＝日本語学校への専修学校職業教育の理解促進	広報物の完成	活用専修学校、日本語学校の満足度調査	①「出前授業メニュー」完成、配布 ②35講座(専門学校17校・日本語学校7校)
4-A	留学生採用企業交流会の実施	専修学校留學生育成の業界への理解と企業ニーズの反映	交流会参加企業数30社	参加企業数と満足度調査	【参加者数】合計:85名 12/3(水)「外国人留學生採用交流会」実施 <内訳>企業34名、行政11名、専門学校17名、講演者:主催者20名
4-B	専修学校職業教育普及のための外国人留學生採用ガイドブックの作成	専修学校留學生育成の業界への理解と企業ニーズの反映	広報物の完成	企業の活用しやすさの満足度評価(交流会参加者へ)	「平成26年度 留學生職業人育成ガイド」完成 総ページ数:200ページ(昨年度116ページ数) 留學生受入れ校85校 企業コメント2件/活躍する卒業生コメント49名

## 2. 次年度以降における課題

次年度以降の課題としては、上記の成果と個別事業での実施成果を踏まえ、以下の課題を継続して取り組むとともに、これまでの網羅的な事業展開から重点的、集中的な取り組みに転換していくことが求められている。具体的には以下の課題がある。

- (1) 留学生の日本就職支援を文部科学省の事業受託で長く実施してきたが、留学生支援の項目や必要なスキルや知識については、採用側と学校側とでの共有が進んでいるが、企業の東南アジア進出の本格化や日本国内での外国人材受け入れ後の人材育成や活用などのテーマに出くわしていることを考えれば、再度、企業ニーズを調査する。常に市場の変化に対応した企業ニーズをとらえておくことが重要である。
- (2) 出口としての企業側のニーズを把握するとともに、専門学校での留学生教育の質保証を再度見つめ直さなければならない。またこれに直結して入り口としての留学生の受け入れについても海外及び国内の送り出し機関と連携した対策が重要である。特にベトナム人材の受け入れは、日本語学校において大量に受け入れたが、思うように日本語教育が進んでいない。極めて低い日本語力しか全体として習得できていないという課題が存在する。これまでの東アジアの漢字圏を中心とした語学教育と専門教育の在り方が問われている。円滑な受け入れを進めるとともに、非漢字圏の学生の語学教育と専門教育の在り方について上記の質保証の観点も含めて、日本語学校、現地教育機関などの送り出し教育機関と連携して、新たに開発し、普及する必要がある。
- (3) 日本の専門学校における職業教育の質の高さを、国内外の教育機関や出口となる企業に次年度以降も継続的に訴求することが極めて重要である。そのためにWEB活用、企業との交流会、啓発冊子の配布などの事業を継続的に実施する必要がある。

## 第4章：提言2015

### 1. 趣旨

大専各は文部科学省の委託事業として「専修学校留学生総合支援プラン」とそれに続く「専修学校留学生就職アシスト事業」を受託し、「関西型留学生就職支援基盤の構築」「関西型留学生就職支援基盤の活用」「関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業」を継続的に展開してきました。それによって、専修学校留学生に対して就職の全体スキームの確立、地域での産官学のネットワーク形成、留学生職業教育の内容の開発と啓発を続け、関西の地域において留学生の日本就職が、社会一般に必要であると認知されるに至っています。しかしながら専修学校留学生の受入から就職までのワンストップサービスはまだ十分に定着しているとは言い難く、送り出し国においても専修学校での留学生への職業教育の質の高さが十分に認知されるまでには至っていません。

一方、企業の海外進出、とりわけ地域中小企業の中国以外の海外進出に伴って必要とされるグローバル人材の育成と確保という課題が拡大しており対処が必要となっております。またこの企業ニーズの増大に伴い多国籍で多様な文化を持つ留学生の受け入れがこれまでにないスピード進んでいますが、受け入れ体制の整備も十分には整ってはならず、新たな課題も生まれ出しています。

留学生に対する職業教育の質の高さと産官学の強い絆を持つと自負する私たち関西の専修学校は、これまでの成果をより推進するため重点的な施策の実現、新たな課題の解決をリードすべき立場にあると信じております。そのため、これまでの提言を踏まえ、今年度は以下の提言を、行政、業界団体、産業界へ行います。

### 2. 5つの提言

#### 提言1 多国籍で多様な文化を持つ留学生の受入れ体制の整備・拡充を。

日中関係の変化と地域産業界のASEAN地域への進出の本格化に伴い、ベトナム、ネパールをはじめとする多国籍で多様な文化を持つ留学生の受け入れがこれまでにないスピードで進みだしています。そのためこれら開発途上国の留学生受入の体制整備・拡充が急務となっています。

第1に、日本留学に関わるあらゆる機関に対し、送り出し国への日本留学についての正確な情報提供と、適切な学生募集・入国審査、適切な日本語教育と在籍管理などの対応を求めます。

第2に、専修学校においては、中国からの受け入れ急増時に「専門学校留学生受入に関する自主規約・ガイドライン」を制定して適切な留学生受入を確認しました。この自主規約・ガイドラインを今一度全国の会員校へ周知・啓発し適切な留学生受入を推進すること。また、現在各校で努力している途上国留学生の日本語教育、生活支援の取り組みを地域全体の受け入れ体制の整備の課題として取り上げ、受け入れ研修会などを通して受け入れ体制を整備・拡充すること。

第3に、これらの国の受け入れ窓口の役割を担っている国内日本語教育機関と協力して、秩序だった学生募集の促進、様々な課題解決を促進すること。日本語科をもつ専修学校は率先してその行動を行って参ります。

第4に、従来の受け入れ推進一辺倒を改め、適切な受け入れに全面的に協力し、入国管理政策を担当する入国管理局と留学生受け入れに関わる諸業界団体との定期的な協議の場を設けられるよう各方面に働きかけます。

## 提言 2 留学生を日本に引き付ける日本の魅力と専修学校の職業教育の魅力を世界へ発信。

留学生の獲得は、現在国際間の競争状況にあります。いかに優秀な留学生を自国に受け入れ、自国に優れた国際人材を取り組むかは、世界的な競争状況にあります。そのために各国とも自国の文化と魅力の発信にしのぎを削っている状況です。その点では大阪・関西は歴史的、文化的に多くの観光資産をもっており、この魅力発信による関西への観光客の増加が、留学生の増加のインフラになることは言うまでもありません。すでに受け入れている留学生を活用した地域観光産業界との協力や、海外で展開される JAPAN コンテンツ普及とのジョイントなどによる「日本や関西の魅力」発信を求めます。同様に、産業集積の多い大阪・関西の産業界と連携した情報発信の継続が必要です。

また、留学生の送り出し国に、WEB を活用した多言語での情報発信を強化することも求められています。日本の専修学校の多様な職業教育は世界のトップ水準にあり十分に世界の若者を魅了する内容をすでにもっています。これら専修学校の職業教育の魅力をいかに効果的に発信するか、世界の若者に届けるか。前述の情報発信との連動を含め、この情報発信にさらに工夫と努力が求められています。

## 提言 3 留学生基礎力の拡充、専修学校の留学生職業教育の深化と普及を。

私たちは、企業のニーズに基づいた人材育成の観点から、留学生が日本企業に就職するために必要な力の養成を「留学生基礎力」として開発し普及に取り組んできました。教育の着地点である出口部分の就職のニーズから開発されたこの留学生基礎力をさらに普及すること、カリキュラム・教材を、ブラッシュアップして成熟化させるとともに、これを国内外へ普及することが重要だと考えています。

これまでの「留学生基礎力」は中国・韓国を中心とした就労者や留学生を想定して記述されております。また現在急増中の ASEAN 諸国を中心とした多国籍で多様な文化をもつ就労者や留学生にも十分対応できるように内容を拡充することが必要です。加えて非漢字圏の学生への日本語力、漢字語彙力、日本語コミュニケーション力、ビジネス日本語の強化を目的とした教育の充実が必要で、効果的な学習法の開発、検定化への取り組みと普及が必要です。これらの取り組みにより専門学校での留学生教育の質保証を実施していくことが求められていると考えています。

## 提言 4 留学生就職支援基盤の充実により専修学校留学生の更なる就職促進を。

留学生の就職を支援する産官学のネットワークが整備されはじめ、留学生の日本就職の概念が日本社会の就職活動、採用活動の中に定着ししつ々あります。企業の合同説明会や留学生のためのインターンシップなども活発に実施されるようになってきました。しかしながら専修学校が送り出す留学生の質の高さに対する認識が行政、企業に十分に浸透してはいません。専修学校を卒業した留学生の日本就職の拡大には、地域中小企業との連携強化と産官学連携の奨学支援充実などの取り組みを推進する必要があります。

本年、企業からの求人ニーズが高まっているベトナムの教育機関との連携・提携促進を大専各として取り組みました。提携校に重点的に魅力を伝え就職可能なスキームを組み上げるというアプローチに手応えを感じています。この取組に行政機関、企業からの協力を求めます。

また、高度専門士や、職業実践課程、母国で大学卒の専門学校入学者の存在など、質の高い多様な職業教育について、今後さらに行政機関、企業への啓発の活動が必要です。

提言5 専門学校各分野留学生の日本就職の制限となっている「在留資格制度」の  
早期の改定と弾力的な運用を！

留学生の日本就職への門戸が大きく開かれつつあり、法制度においても、従来の在留資格の運用の弾力的運用、卒業後の就職活動を保証するための在留制度の実現など、大きく整備がなされてきました。本年度においては入国管理法の改定で、より柔軟な高度人材の受け入れが可能となってきております。

昨年、日本料理の調理分野での日本就職が緩和され、受け入れが開始しました。加えて少子高齢化時代のグローバルな人材確保の観点から介護分野、美容分野での緩和も行政が検討する段階にきています。しかしなお、福祉分野での社会福祉士、保育など専門学校で設置している学科の各資格での日本就職について制限をされたままの状態にあります。入管行政での法改正と弾力的な運用が進んでいるとはいえ、なお各分野での職種の制限が専門学校留学生の日本就職の壁となっているのも現実です。専門学校が設置する分野、学科での留学生の日本就職の実現は専門学校としての念願している事項です。これらが日本の文化発信にとって国家戦略ともなる分野であり、十分に高度な人材及び中堅人材の育成分野であるので、早期の在留資格の緩和または新しい在留資格の創出が一日も早く実現することを求めます。特に、高度専門士や職業実践専門課程の修了者については、特段の配慮を求めます。

提言1 多国籍で多様な文化を持つ留学生の受け入れ体制の整備・拡充を。

提言2 留学生を日本に引き付ける日本の魅力と専修学校の職業教育の魅力を世界へ発信。

提言3 留学生基礎力の拡充、専修学校の留学生職業教育の深化と普及を。

提言4 留学生就職支援基盤の充実により専修学校留学生の更なる就職促進を。

提言5 専門学校各分野留学生の日本就職の制限となっている「在留資格制度」の  
早期の改定と弾力的な運用を！

## 第5章：成果の普及

### 1. 事業の周知実績

今年度は、下記の講演の機会を得て、事業の周知及び成果の報告を行った。

- (1) 留学生採用企業交流会での講演
- (2) 現地教育とのベトナム交流会での周知
- (3) ベトナム現地教育機関の日本留学・専修学校理解促進のための視察団来日セレモニーでの周知
- (4) webサイト上での周知

### 2. 報告書配布先

- (1) (一社)大阪府専修学校各種学校連合会 会員校
- (2) 都道府県専修学校各種学校協会等
- (3) 他府県の留学生受入専門学校
- (4) 全国日本語学校
- (5) 官公庁
- (6) 在関西総領事館
- (7) 大阪府内 大学
- (8) 留学生採用に関心の高い企業

### 3. 広報予定

本事業の広報を、以上の機関に加え、次の機関にも行う予定である。また、サイトを活用し、国内外に広報する。

- (1) 大阪府庁
- (2) 大阪市役所
- (3) (財)日本語教育振興協会
- (4) 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
- (5) 公益社団法人関西経済連合会
- (6) 文部科学省
- (7) 経済産業省
- (8) 法務省
- (9) 外務省
- (10) 領事館
- (11) 大学コンソーシアム大阪
- (12) 南大阪大学コンソーシアム
- (13) 大阪商工会議所
- (14) (一財)大阪労働協会

等

## 事業実施体制

### (1)実施委員会

実施委員会			
氏名	所属・職名	役割等	所属機関の URL
福田 益和	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 理事長 大阪工業技術専門学校	委員長	www.fukuda.ac.jp
長谷川 恵一	エール学園	副委員長	www.ehle.ac.jp
上田 哲也	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 大阪エンタテインメントデザイン専門学校		www.ucf.jp
平岡 憲人	清風情報工科学院 (一財)日本語教育振興協会京阪名地区評議員		www.i-seifu.jp www.nisshinkyō.org
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校		www.kamei.ac.jp
富永 桂多	関西外語専門学校		www.tg-group.ac.jp
田中 祐司	辻調理師専門学校		www.tsuji.ac.jp
高田 直樹	ホスピタリティソーリズム専門学校大阪		www.trajalinternational.info
大西 宏史	ECC国際外語専門学校		japan.ecc.ac.jp
三枝 省三	修成建設専門学校		www.syusei.ac.jp
佐藤 裕幸	大阪YMCA 国際専門学校		www.osk-ymca-intl.ed.jp
鱧谷 貴	大阪商工会議所		www.osaka.cci.or.jp
佐々木 順一	(一財)大阪労働協会		www.jobcafeosaka.jp
渋谷 晴正	株式会社凡人社		www.bonjinsha.com
ワーキングメンバー			
長谷川 恵一	エール学園	委員長	www.ehle.ac.jp
上田 哲也	大阪エンタテインメントデザイン専門学校		www.ucf.jp
平岡 憲人	清風情報工科学院	副委員長	www.i-seifu.jp
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校	副委員長	www.kamei.ac.jp
富永 桂多	関西外語専門学校	副委員長	www.tg-group.ac.jp
三枝 省三	修成建設専門学校		www.syusei.ac.jp
崎村 真	エール学園		www.ehle.ac.jp
萩原 大作	エール学園		www.ehle.ac.jp
津川 龍一	大阪エンタテインメントデザイン専門学校		www.ucf.jp
古畑 和彦	清風情報工科学院		www.i-seifu.jp
木村 泰一	ECC 留学生センター		www.global.ecc.ac.jp
山佐 亜津子	大阪YMCA 国際専門学校		www.osk-ymca-intl.ed.jp
瓶井 剛	日本メディカル福祉専門学校		www.kamei.ac.jp
川鍋 史一	森ノ宮医療学園専門学校		www.morinomiya.ac.jp
松野 弘美	トラベルジャーナル学園		www.osaka.trajal.ac.jp
浜野 哲二	大阪工業技術専門学校		www.oct.ac.jp
白川 啓子	大阪YWCA専門学校		www.osaka.ywca.or.jp
オブザーバー			
山下 裕貴	修成建設専門学校		www.syusei.ac.jp



(2) 事業実施協力機関等 (本事業実施にかかる協力団体や機関を記載)

団体名、機関名等
近畿地区専修学校各種学校会員校
大阪府
大阪市
(一財)日本語教育振興協会
大阪商工会議所
(一財)大阪労働協会
株式会社凡人社
光洋機械産業株式会社
株式会社フジキン
株式会社 WAVE
G.A.コンサルタンツ株式会社
株式会社南海国際旅行

平成 26 年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」  
関西型専修学校留学生就職支援システム・拠点整備事業  
実施報告書

発行日 平成 27 年 3 月 第 1 版  
発行者 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会  
住所 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-2-20  
大手前類第一ビル 7 階  
電話番号 : 06-6352-0048 FAX : 06-6352-7553